

5-2. ゲル地区住民の生活環境アンケート調査

5-2-1. 回答者の属性

■性別

サンプル数は全体で605、ガンダン地区187、ハイラスト地区206、ダンバダルジャー地区212であった。性別は男性49%、女性48%とおおむね半々に分かれた。ダンバダルジャー地区で若干男性の割合が高い。

■年齢

年齢別にみると「20-29歳」32%、「30-39歳」26%、「40-49歳」21%、の回答が多い。20代、30代の若年層の回答が多くみられる。

地区別にみると「20-29歳」がガンダン地区39%、ハイラスト地区34%、ダンバダルジャー地区26%の順に多く、ガンダン地区に若年層の回答割合が高い。

■世帯

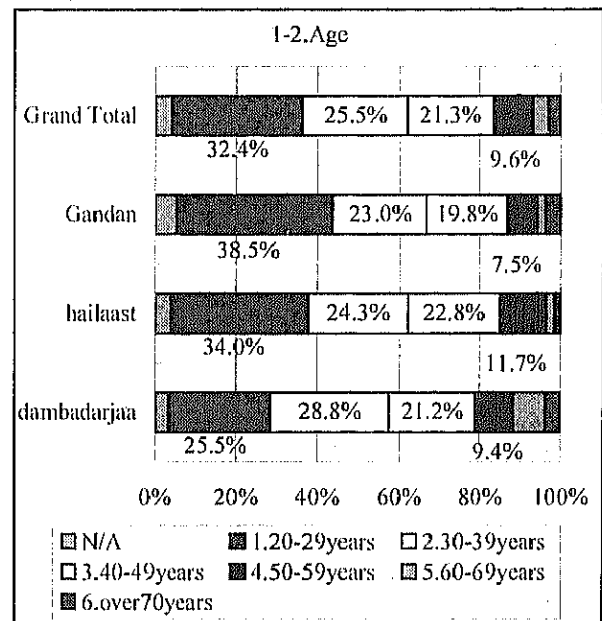
世帯人数は「3-6人」が69%と回答の大半を占めた。「7-9人」18%が次に多く、「1-2人」6%、「9人以上」4%となった。

地区別ではガンダン地区で「3-6人」が78%を占め、「7-9人」が少ない。ハイラスト地区では「7-9人」22%が多く、ガンダン地区で世帯人数が少なく、ハイラスト地区で世帯人数が多い傾向がみられる。

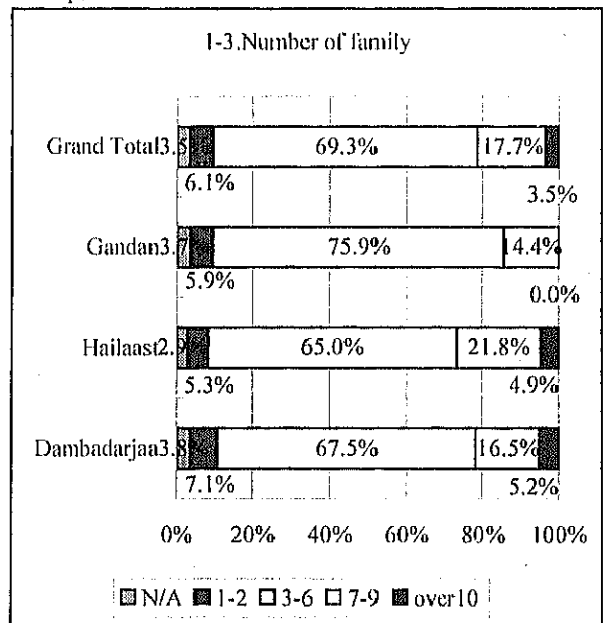
Table. 2-5-1

1. Sex distinction				
dis	N/A	1.man	2.woman	Grand Total
Dambadarjaa	4 1.9%	114 53.8%	94 44.3%	212 100.0%
Hailaast	7 3.4%	96 46.6%	103 50.0%	206 100.0%
Gandan	7 3.7%	88 47.1%	92 49.2%	187 100.0%
Grand Total	18 3.0%	298 49.3%	289 47.8%	605 100.0%

Graph. 2-5-26

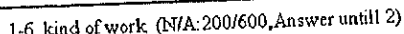


Graph. 2-5-27



父母と子からなる「4. 核家族世帯」が41%と多く、祖父母、父母、子からなる「1. 3世代世帯」15%、「3. 夫婦世帯」12%に回答が集まった。「2. 片親と子の世帯」も10%を占めた。地区別ではハイラスト地区に「核家族世帯」49%、ダンバダルジャー地区に「2. 片親と子の世

ジャー地区に「2. 片親と子の世



		Kind of work																N/A	Total
dis	1-1	① Agriculture	② Industrial	③ Construction	④ Business, commerce	⑤ Bank, account	⑥ Telephone, transport	⑦ Electric, water, gas, engineering	⑧ Engine, mechanical	⑨ Specialist	⑩ Official work	⑪ Service	⑫ Employer	⑬ Employment	⑭ Other	⑮ Unemployed	⑯ Pension		
Dambadarjaa	1.man	1%	6%	4%	5%		10%	1%	3%	6%	6%	5%	4%	4%	2%	8%	10%	41	116
	2.woman	1%	5%	3%	4%	0%	9%	1%	3%	5%	5%	4%	3%	3%	2%	7%	9%	35%	100%
area total		0%	8%	3%	3%	0%	9%	2%	1%	1%	7%	8%	5%	3%	1%	4%	6%	36%	100%
		0%	7%	3%	4%	0%	9%	1%	2%	3%	6%	6%	4%	3%	1%	6%	8%	36%	100%
Hallaast	1.man	1%	4%	7%			7%	1%	1%	2%	9%	5%	3%	6%	6%	9%	6%	23	90
	2.woman	0%	1%	4%	8%	0%	8%	1%	1%	2%	10%	6%	3%	7%	7%	10%	7%	26%	100%
area total		0%	8%	0%	8%	2%	8%	2%	6%	1%	10%	8%	0%	4%	5%	5%	2%	32%	100%
		0%	8%	0%	8%	2%	8%	2%	6%	1%	10%	8%	0%	4%	5%	5%	2%	32%	100%
		0%	8%	0%	8%	2%	8%	2%	6%	1%	10%	8%	0%	4%	5%	5%	2%	32%	100%
		0%	8%	0%	8%	2%	8%	2%	6%	1%	10%	8%	0%	4%	5%	5%	2%	32%	100%
Gamd	1.man	4%	3%	2%	3%	5%	2%	2%	2%	0%	8%	6%	7%	5%	0%	5%	7%	37%	100%
	2.woman	0%	5%	4%	2%	4%	6%	2%	2%	0%	8%	6%	7%	5%	0%	5%	7%	37%	100%
area total		0%	6%	1%	3%	4%	9%	0%	5%	4%	8%	12%	3%	3%	2%	8%	28%	100%	
		0%	6%	1%	3%	4%	9%	0%	5%	4%	8%	12%	3%	3%	2%	8%	28%	100%	
		0%	6%	1%	3%	4%	9%	0%	5%	4%	8%	12%	3%	3%	2%	8%	28%	100%	
		0%	6%	1%	3%	4%	9%	0%	5%	4%	8%	12%	3%	3%	2%	8%	28%	100%	
Total		1%	34%	16%	28%	9%	48%	8%	20%	14%	48%	42%	21%	24%	17%	33%	37%	200	600
		0%	6%	3%	5%	2%	8%	1%	3%	2%	8%	7%	4%	4%	3%	6%	6%	33%	100%

Graph. 2-5-28

1-4. Family members

Category	1. grandfamily	2. man or wife with child	3. man and wife	4. man and wife with child	5. brother and sister	6. big family	7. living alone	8. others
Grand Total	41.0%	12.2%	10.2%					
Gandan	36.4%	15.5%	11.8%					
Hailaast	48.5%	7.8%	9.2%					
Dambadarjaa	37.7%	13.7%	9.9%					

0% 20% 40% 60% 80% 100%

Legend:

- N/A
- 2. man or wife with child
- 4. man and wife with child
- 6. big family
- 8. others
- 1. grandfamily
- 3. man and wife
- 5. brother and sister
- 7. living alone

■職業 (記述式、2つまで)

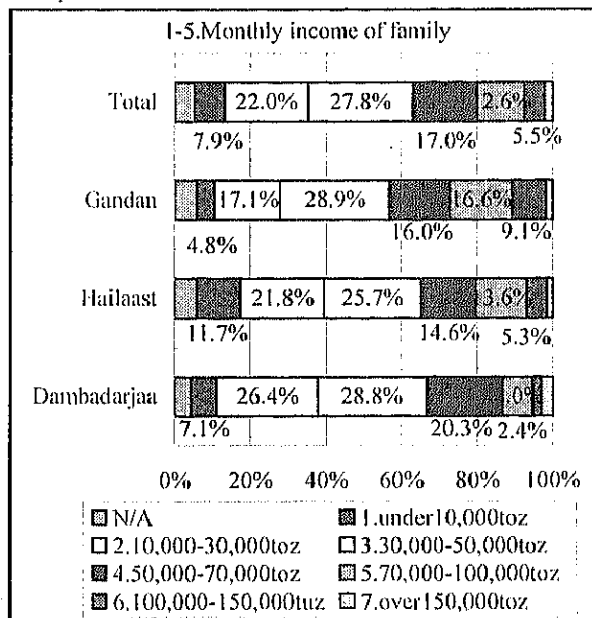
記述式の回答には所属している会社の職種よりも自分の専門や役職を書く回答が多くみられた。

■ 1-5. 世帯の収入

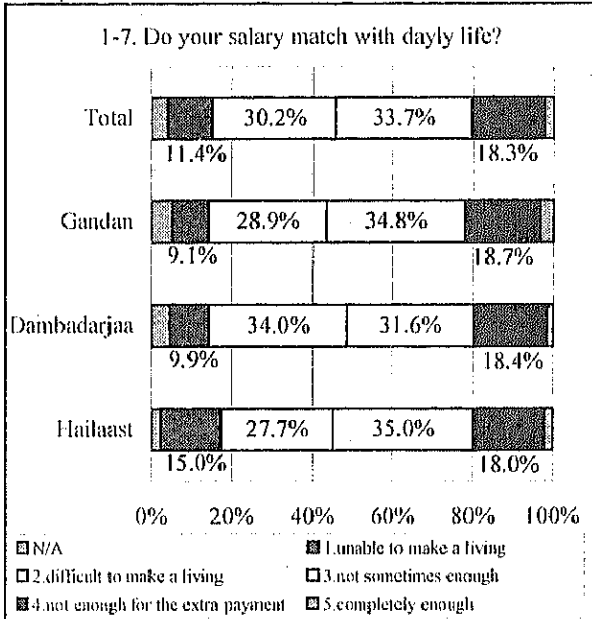
世帯の収入は、「3. 30,000 – 50,000 トゥグ」28%、「2. 10,000 – 30,000 トゥグ」22%で回答の半数を、「4. 50,000 – 70,000 トゥグ」17%、「5. 70,000 – 100,000 トゥグ」13%の100,000 トゥグ以下で8割を占める。地区別では30,000 トゥグ以下がガンダン地区22%と少なく70,000 トゥグ以上の回答が多い。他の地区に比べ収入の高い層が多い回答となった。

続く1-7「収入は生計に足りていますか」という設問では、11%が「1. 生計が成り立たない」、30%が「2. 生計を成り立たせるのは困難」と回答しており、全体の4割が生活の困難を示した。「3. 時々足りないことがある」34%を加えると75%が収入が普段の生活に足りない回答になった。地区別では収入が高い傾向のあるガンダン地区でもほぼ同様の傾向を示している。ハイラスト地区で「1. 生計が成り立たない」15%が多い。収入と生計の関係をみると

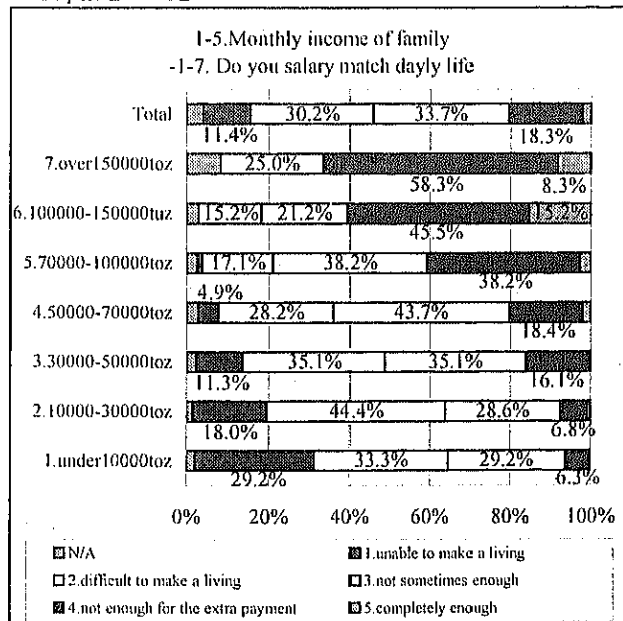
Graph. 2-5-30



Graph. 2-5-31



Graph. 2-5-32



30,000 トゥグ以下で生計の困難を示す回答が6割を超える。10,000 トゥグ以下で「1. 生計が成り立たない」29%が特に多い。収入が100,000 トゥグ以上で「4. 普段の生計には問題がない」、「5. 十分に足りている」回答が6割を超えている。

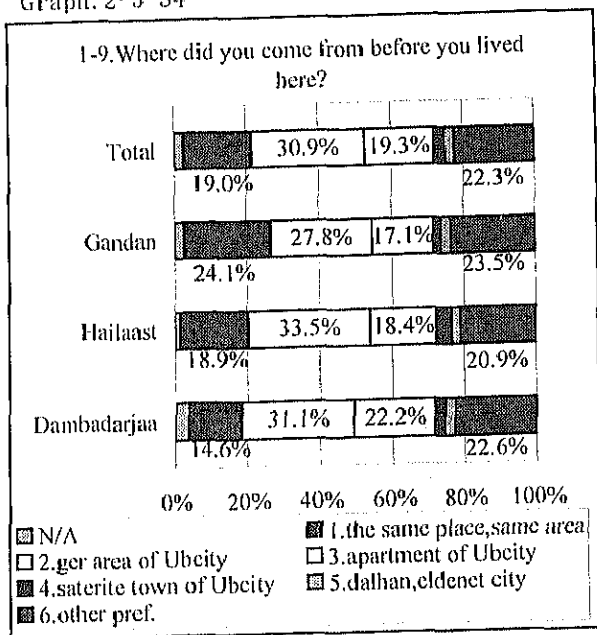
■ 居住期間

1-8. 現在の場所での居住期間は「7. 20年以上」21%、「6. 10 – 20年」18%、「5. 5-10年」15%の順に多く5年以上で50%を超える。地区別ではガンダン地区に10年以上の回答が45%と多く、長く居住されている住民が多い。ハイラスト地区で「1. 6ヶ月未満」14%が目立っている。

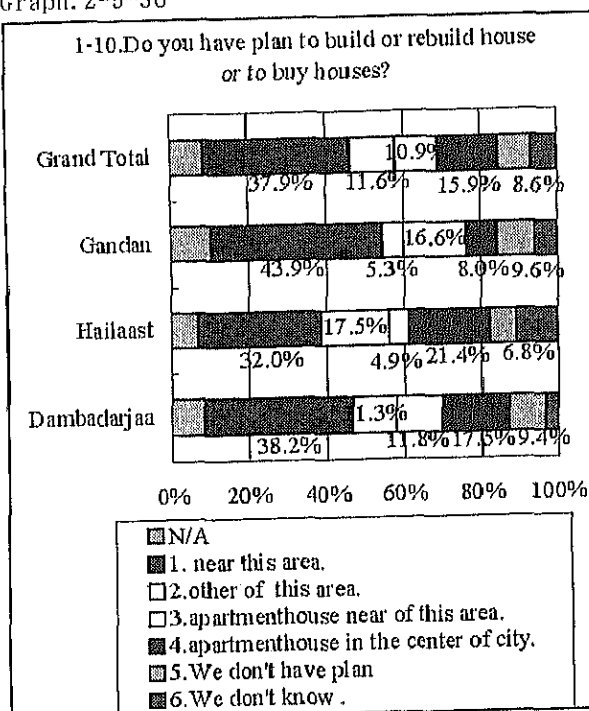
1-9. ここに居住する以前の居住地は「2. 市内のゲル地区」31%がもっとも多く、「1. 同地区内」19%、「3. 市内アパート住宅地区」19%が続き、市内の移転で回答の7割を占める。ガンダン地区で「1. 同地区内」24%が多い。他県からの移転は22%を占めている。

1-8 居住期間と 1-9 以前の居住地の関係をみると、20 年以上では「1. 同地区内」38%、「2. 市内ゲル地区」37%、6ヶ月以下で「6. 他県からの移転」37%と、居

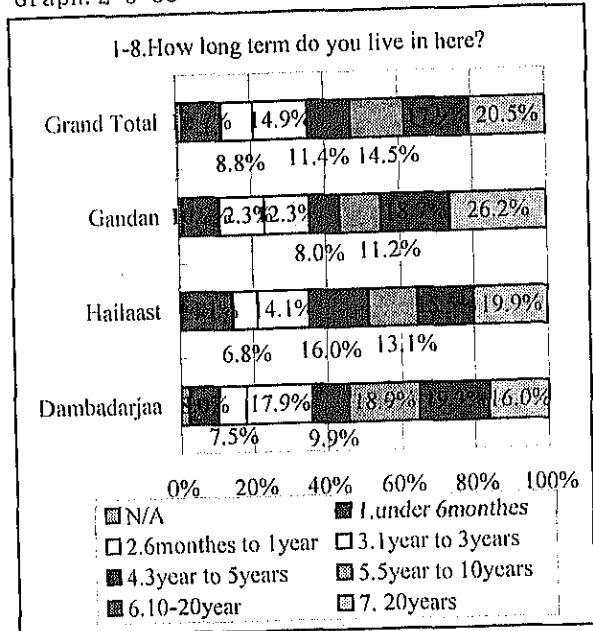
Graph. 2-5-34



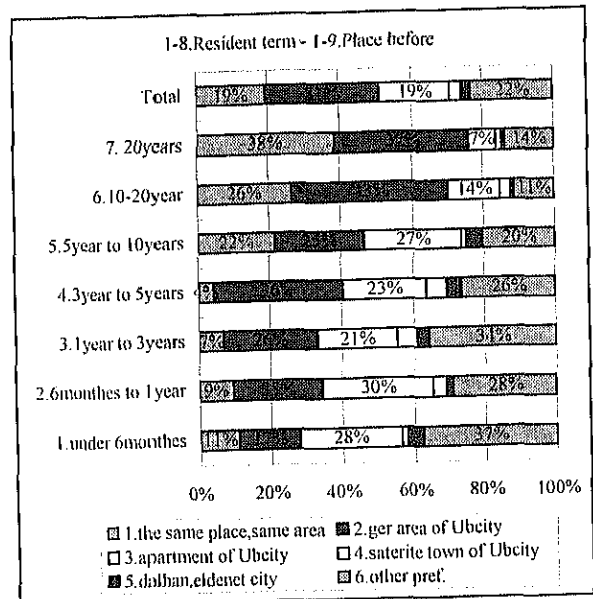
Graph. 2-5-36



Graph. 2-5-33



Graph. 2-5-35



住期間が長いほど、市内の同地区内、市内ゲル地区からの移動が多く、短いほど他の地域、他県からの移転の回答が多くなっている。近年の他県からの人口流入の傾向がみてとれる。

■ 1-10 今後の住宅建設、移転

「1. 現在の居住地近くでの住宅建築、増改築」38%と他の回答を大きく上回っている。「3. 市内アパートへの移転」16%、「2. 現在の居住地とは違う場所での住宅建築、増改築」12%、「1. 現在の住宅の近くでのアパートへの移転」11%と続いている。

地区別ではガンダン地区で「1. 現在の居住地近くでの住宅建築」44%が多く、「3. 市内アパートへの移転」ハイラスト地区21%、ダンバダルジャー地区18%と多い。ハイラスト地区では、「2. 現在の居住地とは違う場所での住宅建設」18%も回答を集めており、他地区への移転の傾向がみられる。

5-2-2. 地区改善の方針

■ 1-11. 住宅地整備の方針

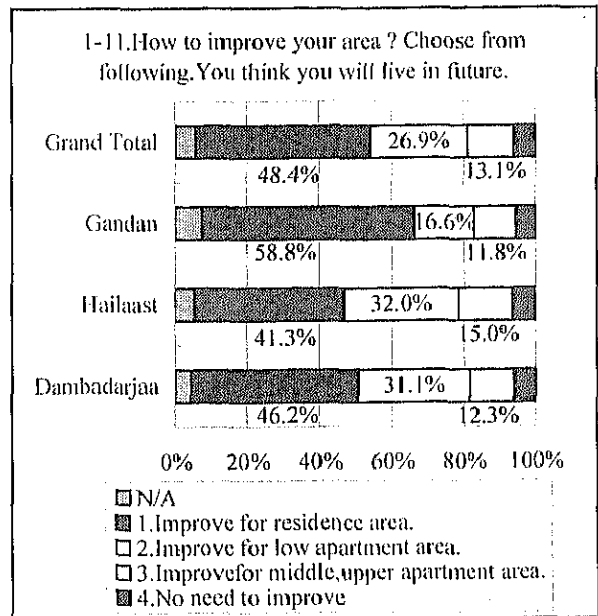
将来の地区改善の方針は48%が「1. 現在の地区を基本に良質な個人住宅地にしていく」が回答の半数を占め、「2. 低層アパート住宅の整備」27%、「3. 高層アパート住宅の整備」13%と続く。「4. 整備の必要はない」という回答は6%であった。地区別ではガンダン地区で「1. 個人住宅地区の整備」が59%と多く、その他の地区では「2. 低層アパート住宅の整備」が多いことに特徴がみられる。

■ 1-12. 地区で優先的な整備が必要な事項について（3つまで）

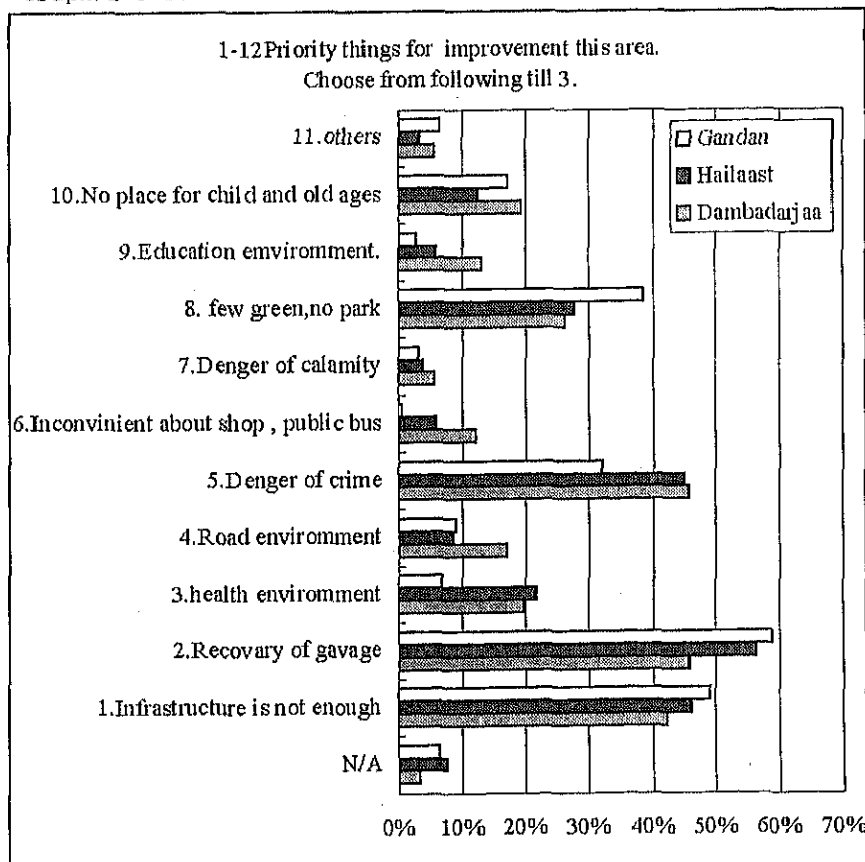
「2. ゴミ捨ての環境」53%、「1. インフラが十分でないこと」46%、「5. (暗さによる) 犯罪の危険」41%が3大事項としてあげられ、「8. 緑の少なさ」31%、「10. 子供やお年よりの過ごす場所がない」16%も回答を集めた。

地区別ではハイラスト地区、ダンバダルジャー地区で「5. 犯罪の危険」(46%、45%)、「3. 病院環境」(22%、20%)がガンダン地区にくらべ回答を集めた。ガンダン地区で「2. ゴミ捨て」59%、「8. 緑の少なさ」39%が、ハイラスト地区では「2. ゴミ」56%、ダンバダルジャー地区では「4. 道路環境」17%、「6. 商業、交通の不便」12%、「9. 教育環境の低さ」13.2%と、回答が多岐にわたっている。

Graph. 2-5-37



Graph. 2-5-38



5-2-3. 生活状況について

1. 上水の利用について

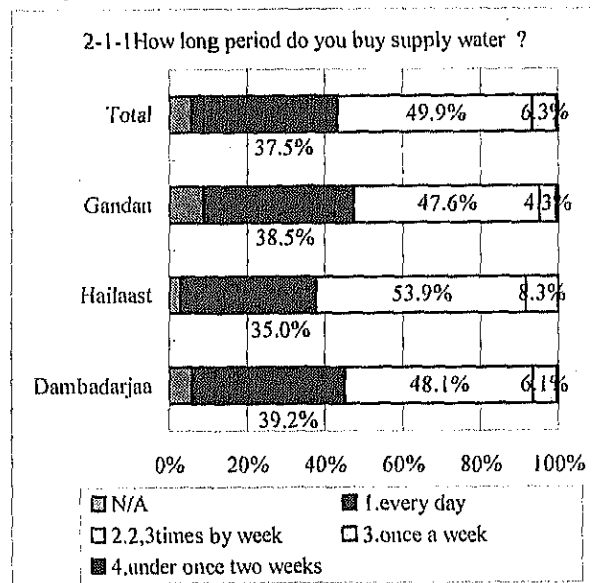
■ 2-1-1. 上水の確保について

上水を買うに行く回数は、「2. 週に2、3回」50%と、「1. 毎日」38%に大きく分けられる。地区別ではハイラスト地区に週2、3回買いに行く傾向がみられる。

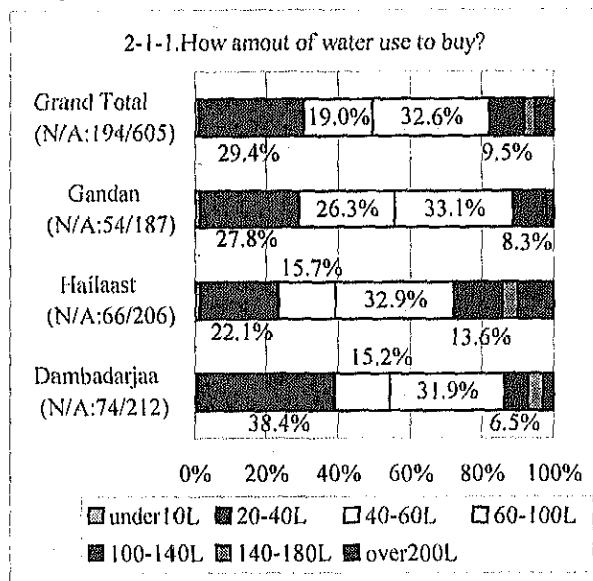
一回に買う上水の量は「60-100リットル」33%、「20-40リットル」29%、「40-60リットル」19%の順に回答が多い。地区別にみると、ガンダン地区で「40-60リットル」26%、ハイラスト地区で100リットル以上が28%、ダンバダルジャー地区で「20-40リットル」38%がそれぞれ多い。

上水を買う頻度と量の関係を、回答の多い、毎日と週2～3回でみると、毎日購入する世帯では、「20-40リットル」が42%、「40-60リットル」23%、「60-100リットル」25%となる。週2～3回の購入では「60-100

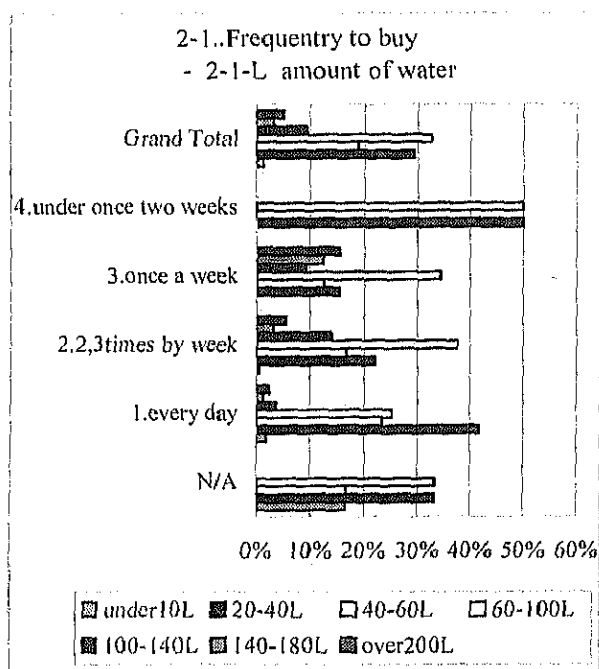
Graph. 2-5-39



Graph. 2-5-40



Graph. 2-5-41



リットル」38%、「20-40リットル」22%の回答が多い。購入量の中心が20-40リットルから60-100リットルに移行しており、上水の世帯あたり使用量はおおむね一定と考えられる。

■ 2-1-2. 入浴の頻度

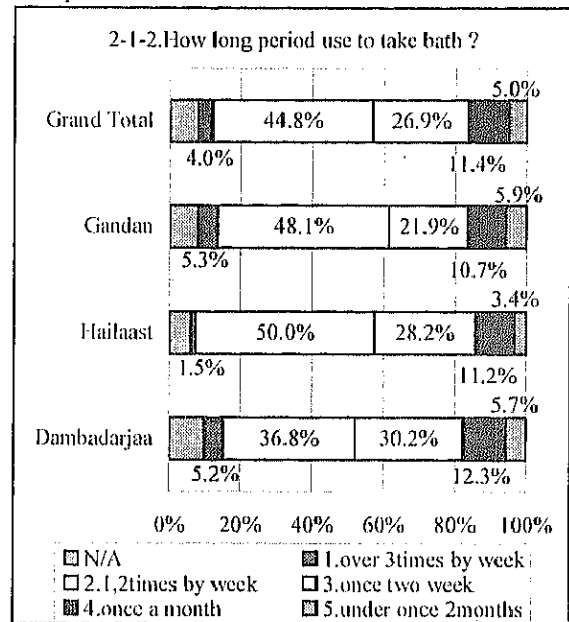
入浴の頻度は「2. 週1～2回」45%、「3. 2週に1回程度」27%で72%を占める。月一回以下は16%である。地区別ではダンバダルジャー地区で、「2. 週1-2回」が37%で少なく、他の地区よりも入浴回数が少ない傾向がある。

■ 2-1-3. 洗濯の頻度

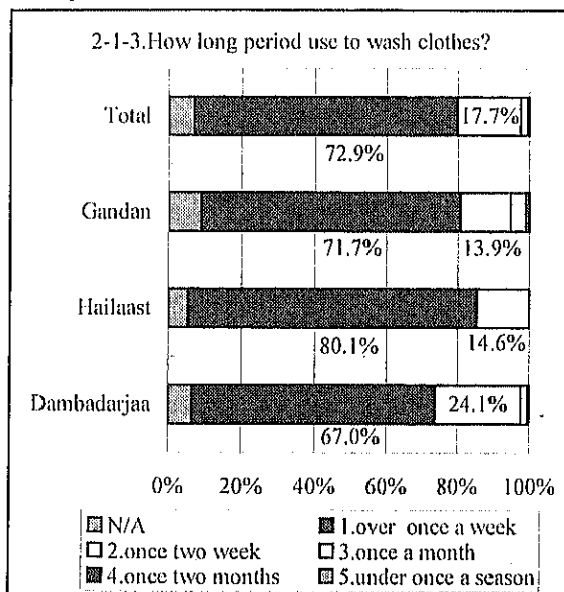
「1. 週一回以上」73%、「2. 2週に一回」18%となった。

「1. 週1回以上」がハイラスト地区で80%と多く、ダンバダル

Graph. 2-5-42



Graph. 2-5-43



ジャー地区で67%と少ない。

■ 2-1-4. 公共の浴場や洗濯場の必要

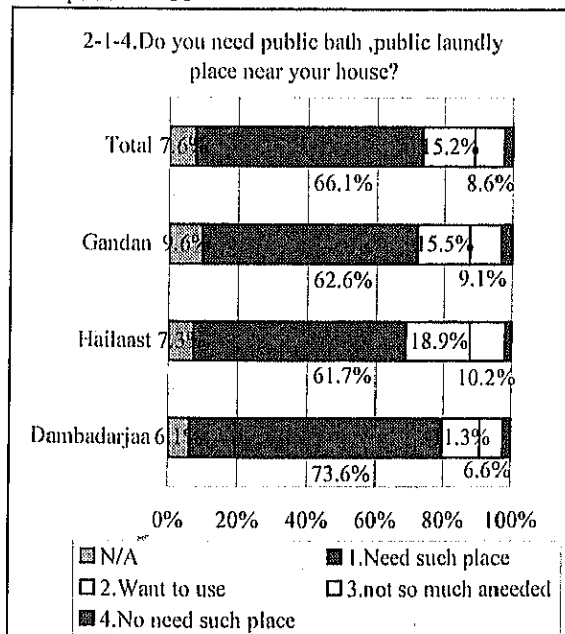
「1. ぜひ必要である」66%、「2. あれば使いたい」15%、「3.それほど必要ではない」10%となった。

地区別にみると、ダンバダルジャー地区で「1. ぜひ必要である」74%と他の地区に比べ高い割合を示している。

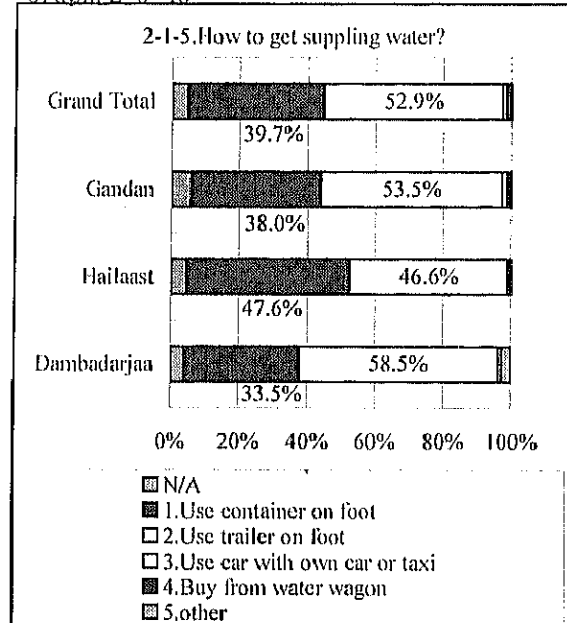
■ 2-1-5. 上水購入の手段

上水の購入は「1. 手押し車で買いに行く」53%、「2. ポリタンクを手で持って買いに行く」40%となる。斜面の多いハイラスト地区では「2. ポリタンク」48%が、ダンバダルジャー地区では「1. 手押し車」59%の回答が多く出ている。

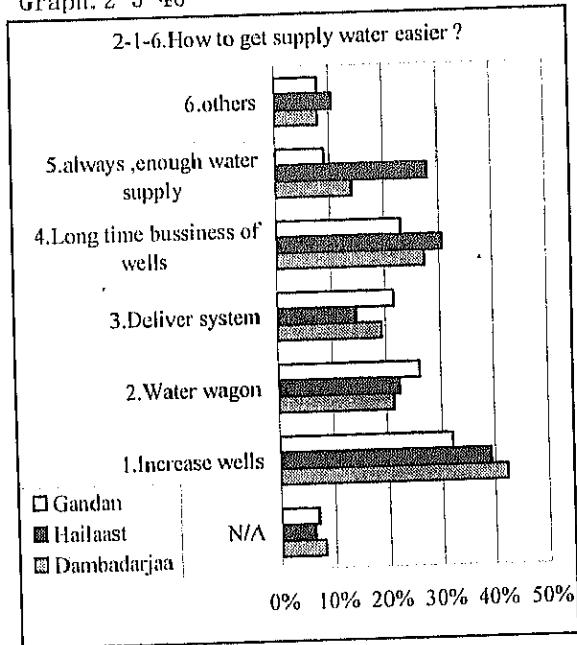
Graph. 2-5-44



Graph. 2-5-45



Graph. 2-5-46



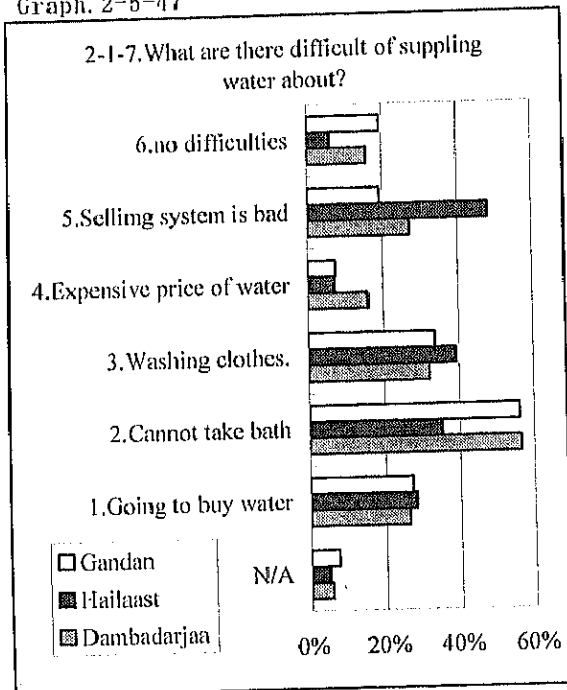
■ 2-1-6. 上水入手手段の改善について(複数回答)
「1. 上水の販売所を増やす」38%、「4. 販売所の営業時間を長くする」27%、「2. 上水販売車を走らせる」23%の順に回答が多い。現在ある上水販売所の改善を望む回答が多い。

地区別にみると、ガンダン地区に「1. 上水販売所を増やす」32%が少ないこと、ハイラスト地区に「5. 常に十分な量の上水が販売所に供給されていること」28%の回答が多い。

■ 2-1-7. 上水確保についての困難(複数回答)

上水の確保について困難を感じることは「2. 自宅で体を洗えないこと」49%、「3. 洗濯の水が十分に確保できないこと」35%、「5. 上水販売所の販売体制が悪いこと」32%、「1. 上水を買に行くのが面倒なこと」27%に回答が集まった。地区別では、ハイラスト地区に「2. 自宅で体を洗えないこと」35%が低く、「5. 上水の販売体制が悪いこと」49%に回答が集まった。ハイラスト地区では上水の販売体制の悪さが、全体ではもっとも多い「2. 体を洗えないこと」以前の問題として指摘されている。

Graph. 2-5-47



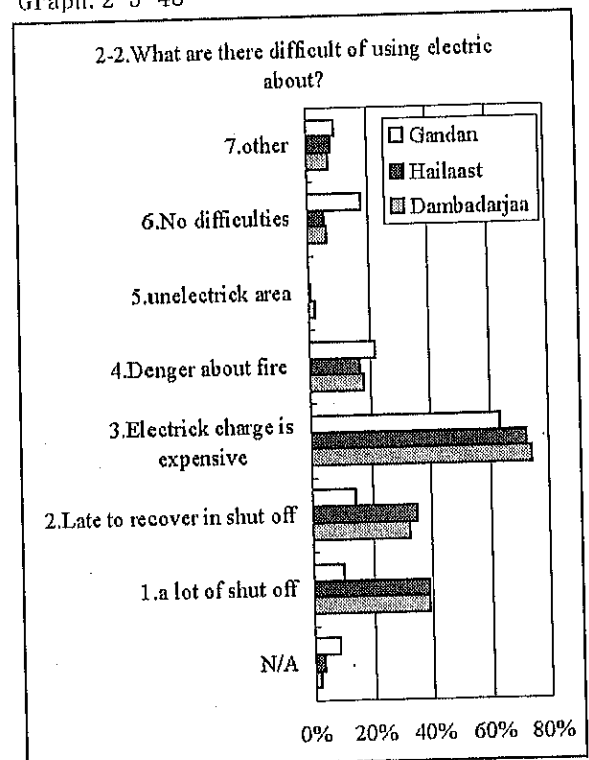
%も回答を集めた。「4. 火災の危険を感じる」は19%であった。地区別にみると、「1. 停電の多さ」、「2. 復旧に時間がかかる」が、ハイラスト地区、ダンバダルジャー地区で30%を超えている。ガンダン地区では「6. 特に問題はない」とする回答も18%みられ、送電設備に問題が少ないことを示している。

2. 電気の利用について

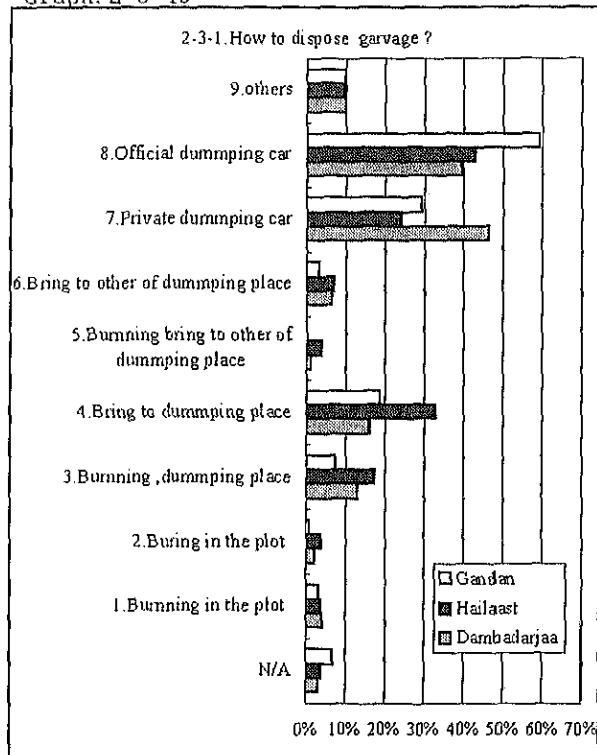
■ 2-2. 電気利用の困難について(複数回答)

電気利用の困難については「3. 料金が安いこと」70%が飛びぬけて高い回答を示したほか、「1. 停電が多いこと」30%、「2. 復旧に時間のかかること」28

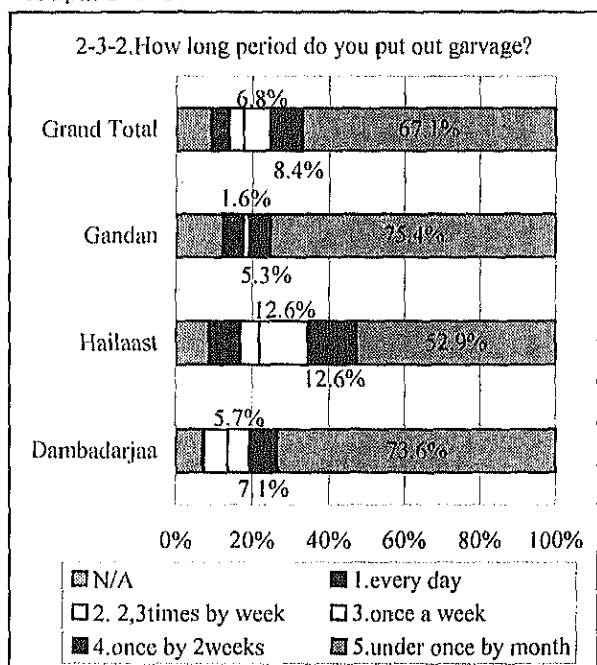
Graph. 2-5-48



Graph. 2-5-49



Graph. 2-5-50



ていること」33%と多岐に回答が多かった。

地区別ではガンダン地区でゴミ収集車についての問題が、ハイラスト地区とダンバダルジャー地区ではゴミ捨て場の問題についての回答がそれぞれ多くみられた。

3. ゴミ捨てについて

■ 2-3-1. ゴミ処理の方法について

「8. 公共のゴミ収集車に自宅からもっていく」47%、「1. 個人のゴミ収集車にお金を払って持っていってもらう」34%、「4. ゴミ捨て場に持っていく」23%が回答を集めた。地区別にみると、ガンダン地区で「8. 公共のゴミ収集車」59%、ハイラスト地区で「4. ゴミ捨て場に持っていく」33%、ダンバダルジャー地区で「7. 個人のゴミ収集車」46%の回答が多い。

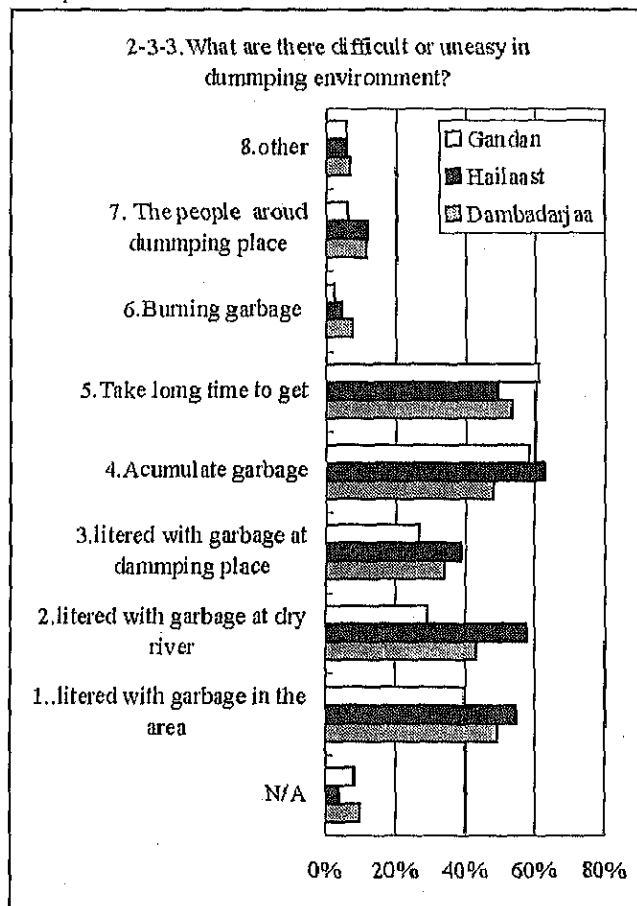
■ 2-3-2. ゴミ出しの頻度（複数回答）

「5. 月に1度以下」67%が回答の大半を占めるほか、「4. 2週に1度」8%、「1. 週に1度」7%の回答がみられた。地区別にみると、ハイラスト地区に「4. 2週に1度」13%、「3. 週に1度」13%が多い。

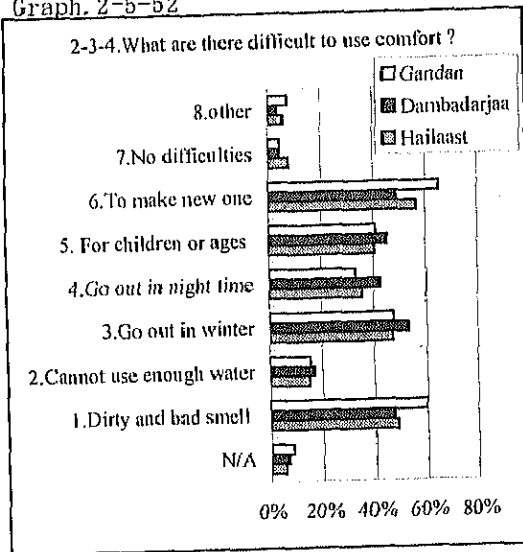
■ 2-3-3. ゴミ捨て環境の問題点（複数回答）

「4. ゴミの収集が遅く、ゴミが溜まること」56%、「5. ゴミ収集車がこないこと」54%、「1. 地区内にゴミが散乱していること」48%、「2. 地区内の雨水溝や空き地にゴミが捨てられていること」44%、「3. ゴミ捨て場のまわりにゴミが散らかっ

Graph. 2-5-51



Graph. 2-5-52



■ 2-3-4. トイレ使用の困難（複数回答）

トイレの使用については「6. 新たにトイレをつくることが困難」57%がもっとも多く、「1. 汚れ、臭い」52%、「3. 冬場に外のトイレに行くことの困難」49%、「5. 子供、高齢者の利用に困難がある」43%、「4. 夜間外のトイレに行くことの困難」37%と多くの面での困難が指摘された。

地区別ではガンダン地区で「1. 汚れ、臭い」60%、「6. 新たなトイレをつくることの困難」65%の回答が多く、世帯密度が高い地区であることとの関連が考えられる。

4. 冬場の石炭の利用について

■ 2-4-1. 石炭を買いに行く頻度

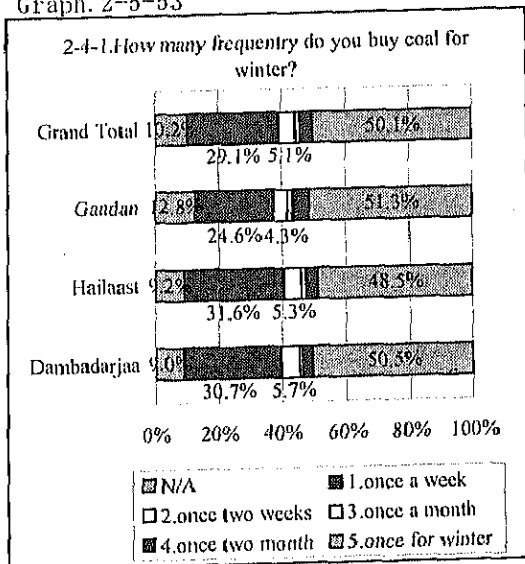
「5. 冬場必要な分をまとめて」51%、「1. 週に一度以上」29%の2つに回答が分かれた。地区別においても同様な傾向を示した。

石炭を買いに行く頻度と量は、回答の多かった「冬場まとめて」では5000 kg、「週に一度」では30-50 kgに回答が集中した。

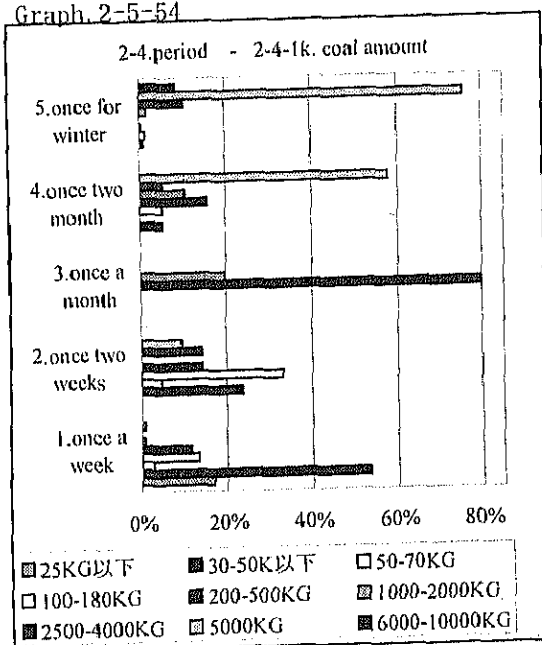
■ 2-4-2. 石炭利用の困難について（複数回答）

「4. 石炭の値段が高く十分な量の入手が困難」64%、「6. 石炭の煙で目や喉を痛める」58%、「5. 石炭の灰や煙で室内や敷地内が汚れる」44%が多く、「3. 石炭を切らすことの心配」29%がこれに続く。地区別ではガンダン地区で「5. 室内や敷地内が汚れる」52%の回答が多くみられた。

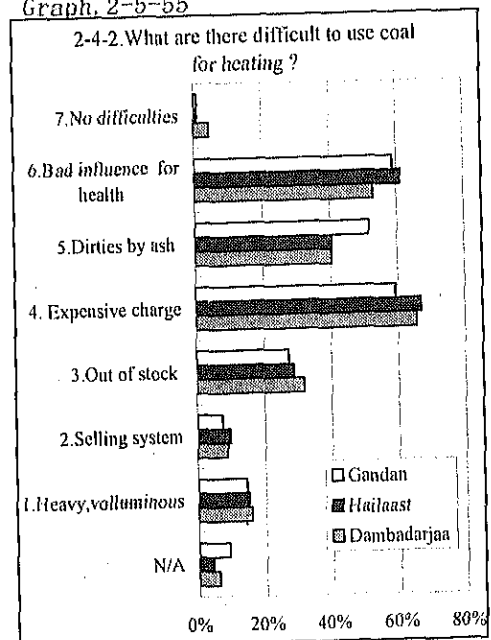
Graph. 2-5-53



Graph. 2-5-54



Graph. 2-5-55



5. 生活状況の評価

生活状況についての設問を分野別に5段階で評価してもらった。

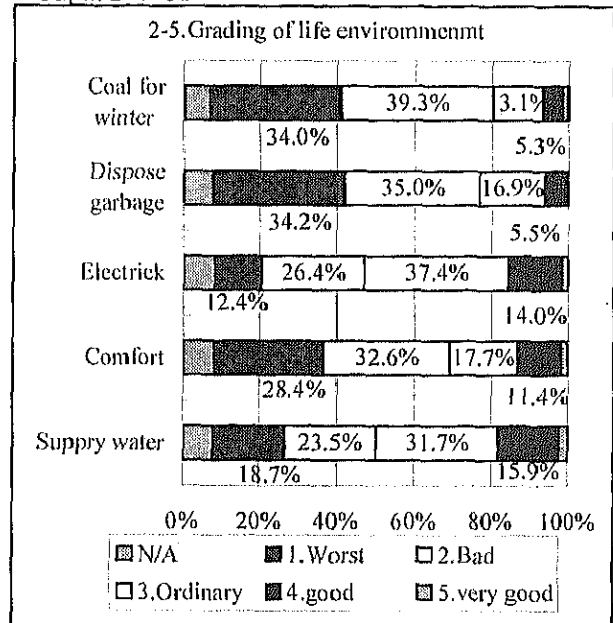
「とても悪い」、「悪い」の合計は、石炭の確保の73%、ゴミ捨ての69%、トイレの問題が61%を占め、マイナス評価が高かった。上水は43%、電気は39%で他の分野に比べマイナス評価が少なく、「普通」の回答が多くでている。

分野別の評価を±5点の点数で表し、分野別、地区別の評価を行った。

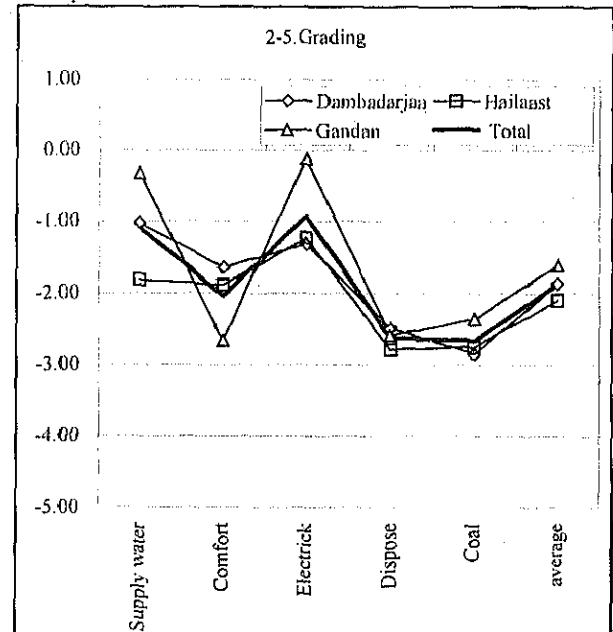
すべての分野でマイナス評価となり平均値は-1.87となった。「石炭の確保」が-2.66ともっとも低く、「ゴミ捨て」の-2.62、「トイレ」の-2.04、「上水」の-1.10、「電気」の-0.93の順にマイナス評価が小さくなっている。

地区別にみるとガンダン地区において「上水」の-0.33、「電気」の-0.12がマイナス評価が小さく他に比較して困難が少ないこと、ハイラスト地区において「上水」の評価が-1.82と大きく困難が大きいことが見受けられる。

Graph. 2-5-56



Graph. 2-5-57



	Supply water	Comfort	Electric	Dispose	Coal	average
Dambadarjaa	-1.03	-1.65	-1.32	-2.49	-2.84	-1.86
Hailaast	-1.82	-1.89	-1.24	-2.78	-2.74	-2.09
Gandan	-0.33	-2.66	-0.12	-2.59	-2.35	-1.61
Total	-1.10	-2.04	-0.93	-2.62	-2.66	-1.87

5-2-4. 地区環境の問題点について

■ 3-1. 病院の問題

「2. 専門医療がないこと」48%、「7. 医療費が高く必要なときに十分にみせることができない」42%の回答が多く、「4. 時間がかかる」33%、「1. 医療のレベルが低い」27%、「3. 施設設備が古い」23%などの問題を指摘する回答がみられた。

地区別ではハイラスト地区、ダンバダルジャー地区にガンダン地区に比べ全般に病院の問題を指摘する回答が多い。

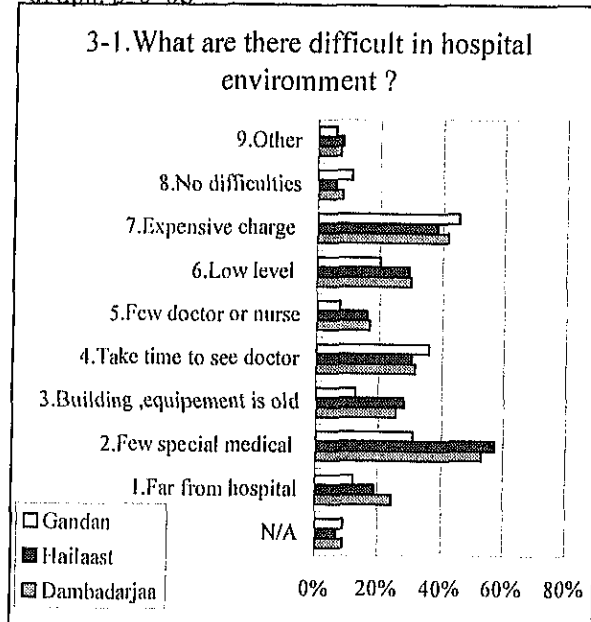
■ 3-2. 救急状態への対応

全体の43%がこれまで救急で病院に行ったこと、行きたかったことが「ある」と回答した。

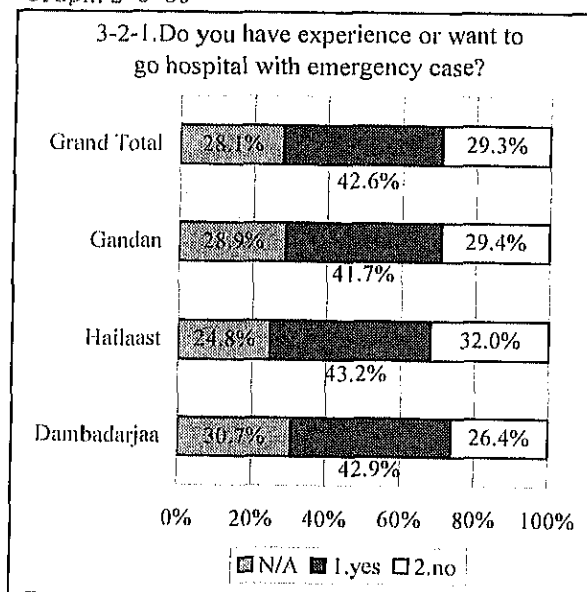
緊急での連絡手段の有無は「ない」が39%を占め、ハイラスト地区に45%と多い。

救急車が自宅まで来ることに問題がありますかという設問では22%が問題が「ある」と回答し、斜面地の多いハイラスト地区で33%と回答が多く、市街地に近いガンダン地区で13%と回答が少なかった。

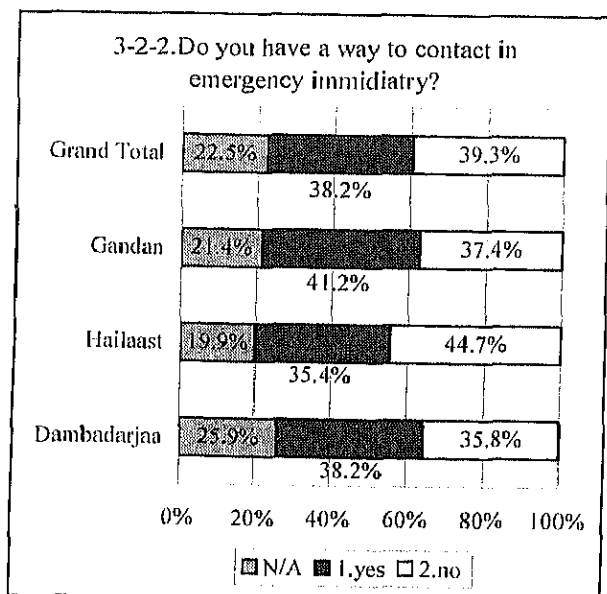
Graph. 2-5-58



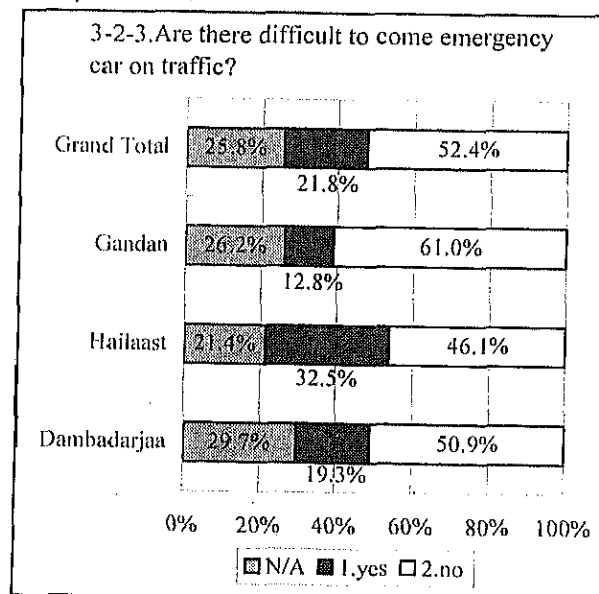
Graph. 2-5-59



Graph. 2-5-60



Graph. 2-5-61



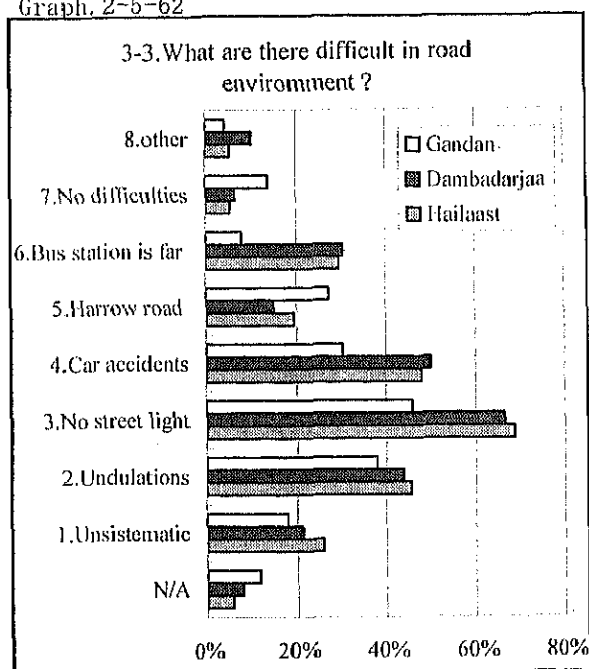
■ 3-3. 道路環境の問題（複数回答）

「3. 夜間街灯がなく歩行に危険を感じる」61%、「2. 道路に凹凸が多く歩行の困難や危険」43%、「4. 歩道がなく自動車事故の危険を感じる」43%に回答が集まった。ハイラスト地区、ダンバダルジャー地区で「3. 夜間街灯」が65%、「4. 自動車事故」50%、「6. バス停が遠い」30%に近く、ガンダン地区を上回る。ガンダン地区では「5. 道路が狭い」ことを指摘する回答が他の地区に比べ回答が多い。

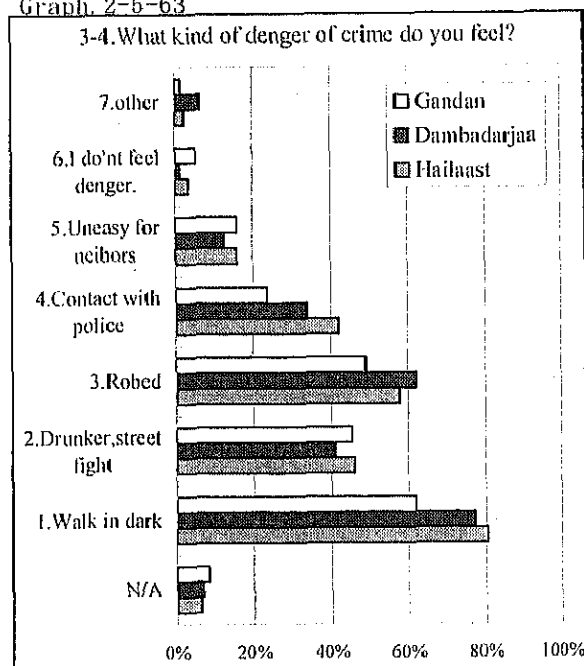
■ 3-4. 犯罪の危険（複数回答）

「1. 夜間街灯がなく危険」が74%と特に回答が多い。「3. 泥棒に入られやすいこと」57%、「2. 酔っ払いや喧嘩の危険」44%も回答を集めた。地区別ではハイラスト地区、ダンバダルジャー地区で「1. 街灯がなく危険」が80%、「3. 泥棒」が60%近く多いこと、また「4. 危険時に警察への通報が困難」の回答がハイラスト地区42%、ダンバダルジャー地区34%と多い。

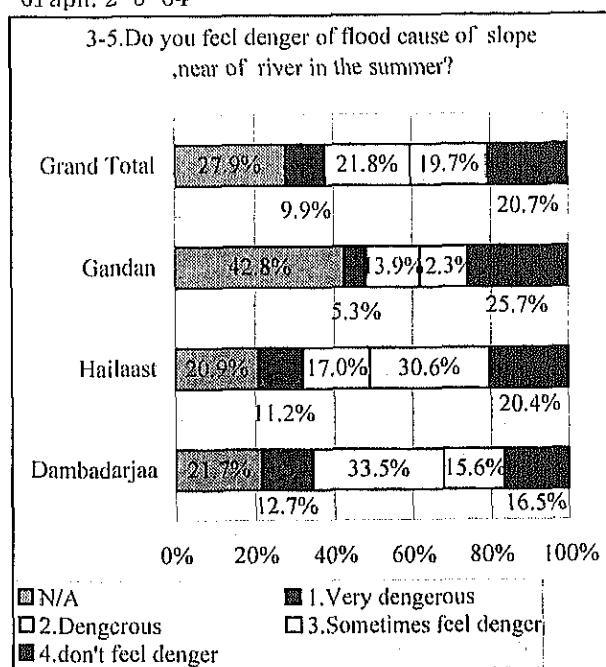
Graph. 2-5-62



Graph. 2-5-63



Graph. 2-5-64



■ 3-5. 斜面地や川の側による洪水の危険

洪水の危険を5段階で尋ねたところ、「1. 非常に危険」10%、「2. 危険を感じる」22%と32%が日常的に危険を感じている。地区別ではダンバダルジャー地区で「2. 危険を感じる」34%、ハイラスト地区で「3. 時々危険を感じる」31%が多い。ガンダン地区では「無回答」43%、「5. 危険を感じない」26%が多く、洪水の危険を感じる割合が低い。ダンバダルジャー地区のそばにセルベ川が流れており洪水の危険を感じる割合が高いと考えられる。

■ 3-6. 木造の家屋で、電線が錯綜し、石炭を使うことによる火事の危険

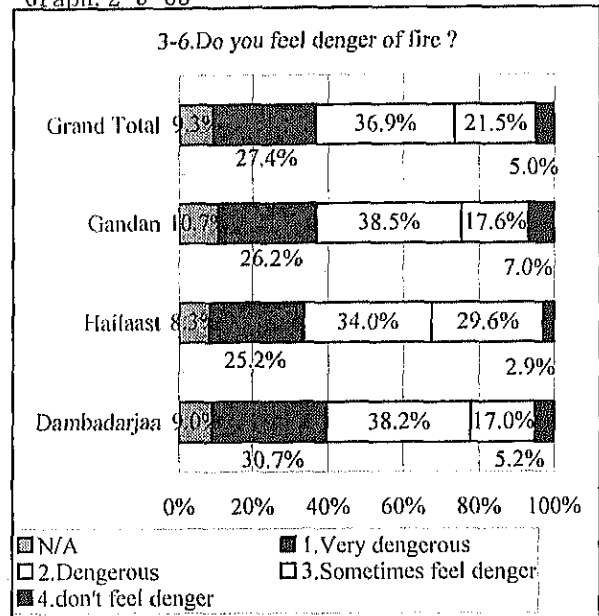
火事の危険の感じ方を4段階で尋ねたところ、「1. 非常に危険を感じる」27%、「2. 危険を感じる」37%で64%が日常的に危険を感じている。

地区別ではハイラスト地区に「3. 時々危険を感じる」30%の回答が多く、危険の感じ方が軽くていている。

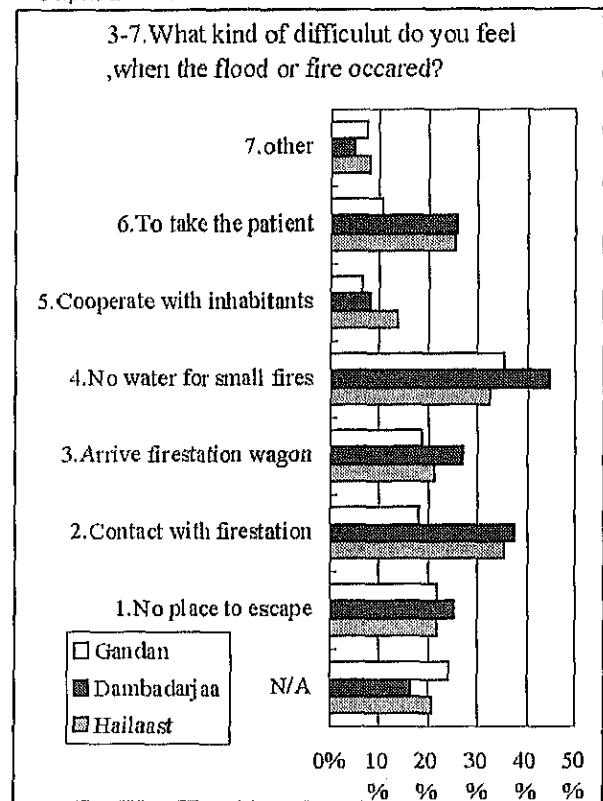
■ 3-7. 洪水や火事が起こったときの困難

「4. 小さな火事を消す水が準備されておらず自分たちで対応できないこと」38%がもっとも多く、「2. 消防署への連絡が難しいこと」31%が続く。地区別ではハイラスト地区で「4. 消防水の準備」が45%と多いこと、ハイラスト地区、ダンバダルジャー地区で「2. 消防署への連絡が難しいこと」が35%以上、「6. 救急患者を病院に連れて行くことが難しいこと」の25%以上の回答が多いことに特徴がみられる。

Graph. 2-5-65



Graph. 2-5-66



5-2-5. 子供の教育環境について

■ 4-1. 6歳以下の子供の保育所や幼稚園への通園

子供の教育についての設問であり、全体で「無回答」32%、「3.6歳以下の子供はいない」33%となり、35%が通園の有無を回答した。ガンダン地区では通園の有無の回答が28%と他地区に比べ少ない。

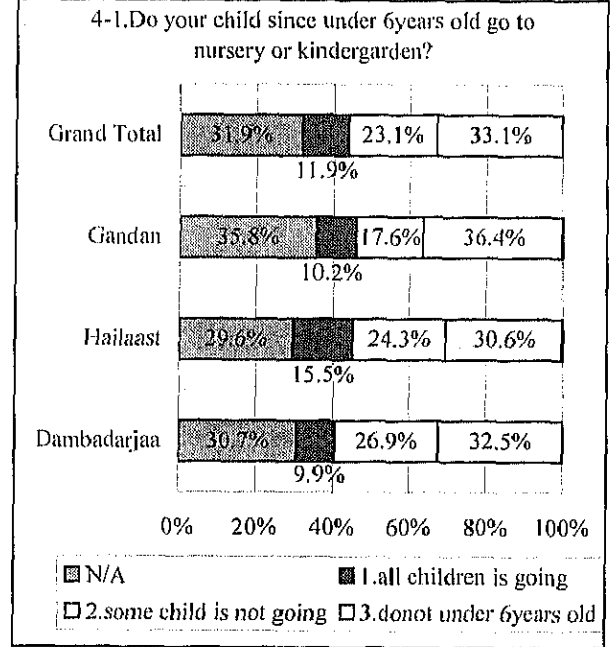
通園の有無を回答した35%のうち、12%が「1. 全ての子供が通園している」と回答し、23%が「2. 通園していない子供がいる」と回答しているが、無回答と、「3. 子供はいない」を差し引いて集計しなおすと、34%が「1. 全て通っている」回答となった。ダンバダルジャー地区で「全て通っている」27%が少ない。

■ 4-2. 通園しない理由

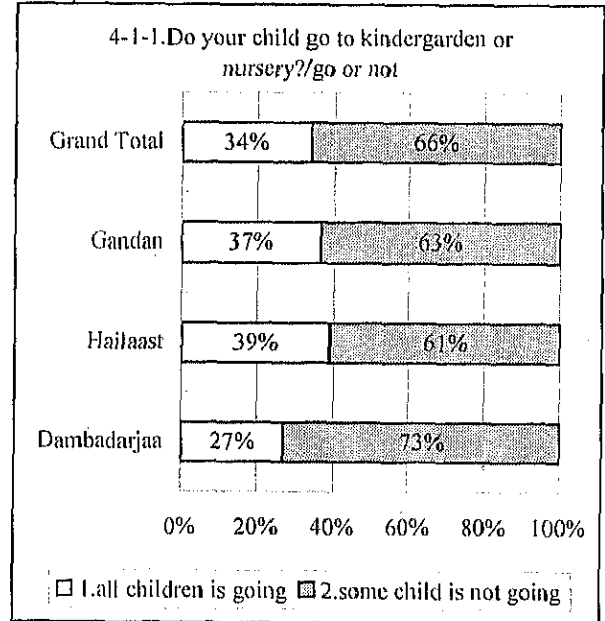
通園していない子供がいる方を対象に通園していない理由について設問した。

「3. 十分に子供の面倒を見てもらえないこと」32%、「4. 通園料が高いこと」30%の回答が多

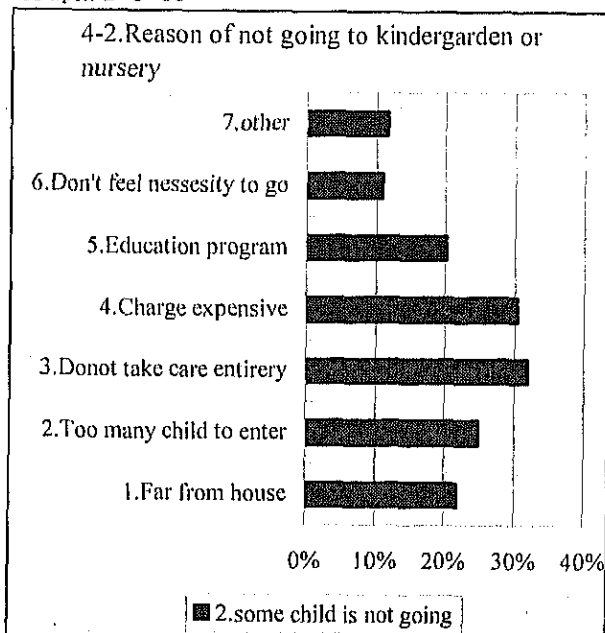
Graph. 2-5-67



Graph. 2-5-68



Graph. 2-5-69

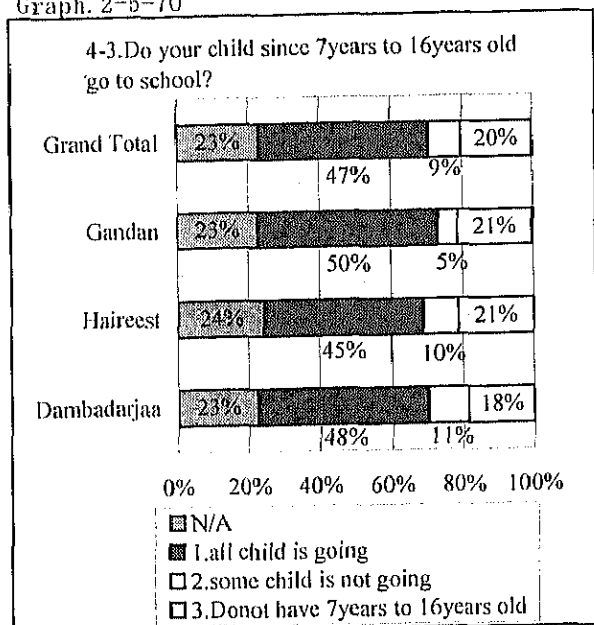


く、「2. 子供が多くて入園できない」25%が続いている。

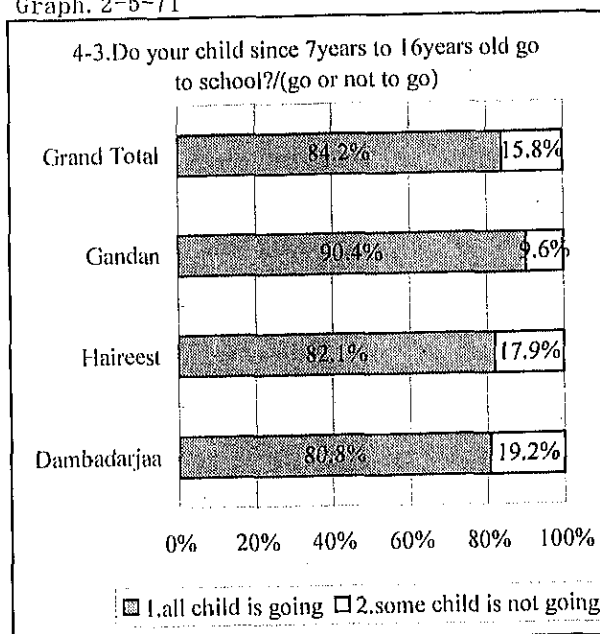
■ 4-3. 7-16 歳の子供の学校登校について

「無回答」が23%、「3. 7-16 歳の子供はいない」20%を差し引くと57%が7-16歳の子供の登校状況を回答した。「無回答」と「3. 子供はいない」を差し引いて集計しなおすと「2. 通っていない子供がいる」が16%を示した。地区別ではガンダン地区で10%が「1. 通っていない」と回答し他の地区に比べ学校に行く子供の割合が高いことがわかる。

Graph. 2-5-70



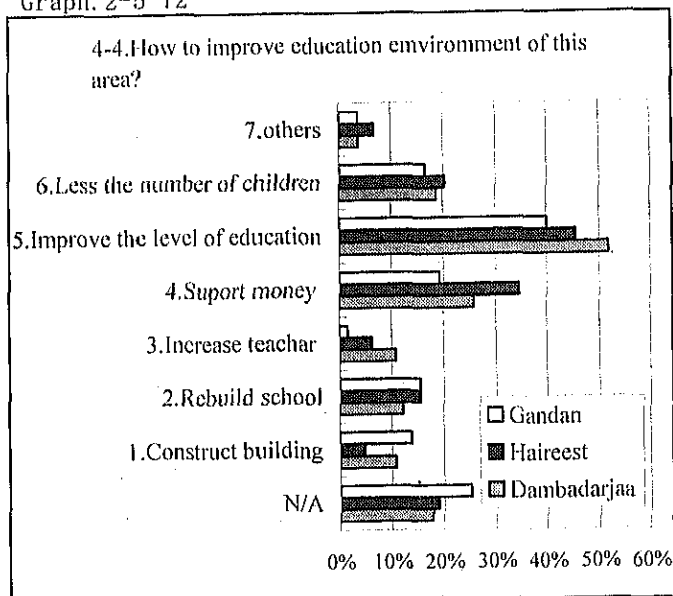
Graph. 2-5-71



■ 4-4. 地区の教育環境の改善について (2 つまで選択)

「5. 教育内容の改善」46%がもっとも回答が多く、「4. 教育にかかる費用の支援」27%が続く。「6. 教室の子供の数を少なくする」19%も回答をあげた。地区別では「5. 教育内容の改善」がダンバダルジャー地区52%、ハイラスト地区46%、「4. 費用の支援」がハイラスト地区34%、ダンバダルジャー地区26%の順に多いほか、ダンバダルジャー地区で「3. 教師を増やす」が11%と他地区に比べ回答を集めている。

Graph. 2-5-72



■ 4-5. 子供の教育に対する考え方
 子供にどの程度の教育をつけさせたいかという設問に対し、子供の教育に関しての設問であることから13%の無回答がみられた。無回答を除いて集計すると「3. 10年生中学卒業後専門学校や大学に行かせたい」という回答が89%と回答の大半を占めた。第2位の「2. 10年制中学卒業程度」は6%に過ぎない。子供に高等教育をつけさせたいという意向がはっきり読み取れた。特にガンダン地区に95%と回答が多い。

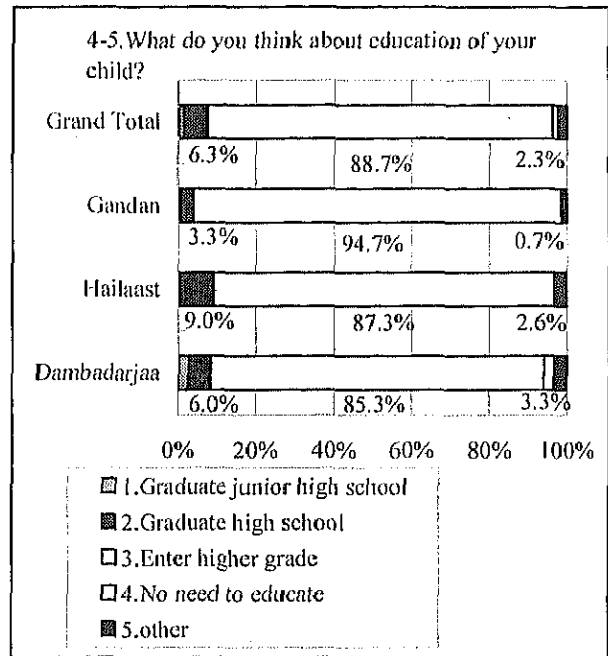
■ 4-6. 地区内で子供たちがみんな安全に遊ぶことのできる場所の有無

そのような場所が「ある」は5%、「ない」が83%を占めている。いずれの地区においても同様な割合を示している。

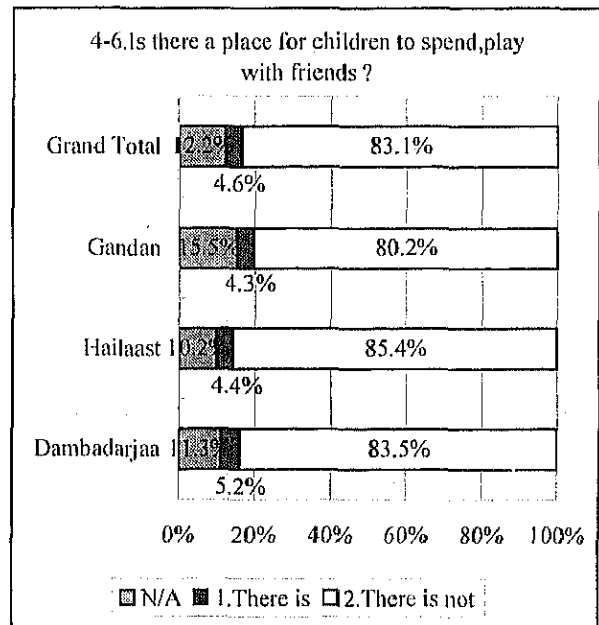
■ 4-7. 子供たちに必要な場所

「2. 子供たちの本や玩具があり自由に学習できる場」を62%、「3. 子供たちが安全に遊べる広場」を54%が必要と回答した。地区別にみるとハイラスト地区で

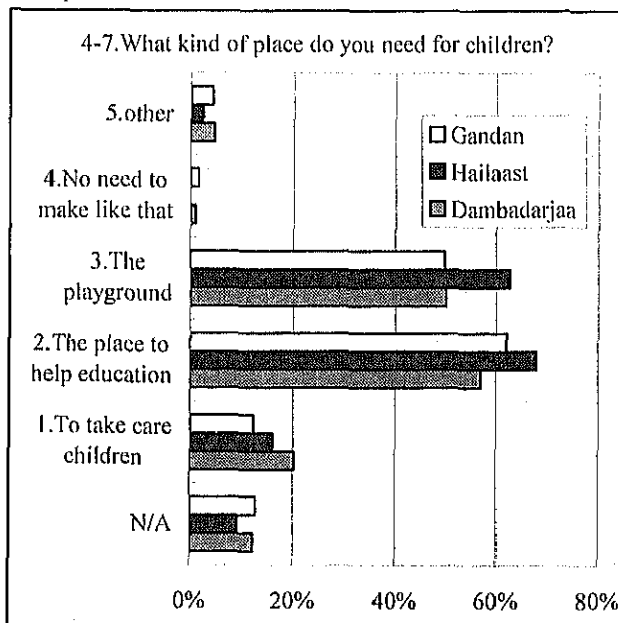
Graph. 2-5-73



Graph. 2-5-74



Graph. 2-5-75



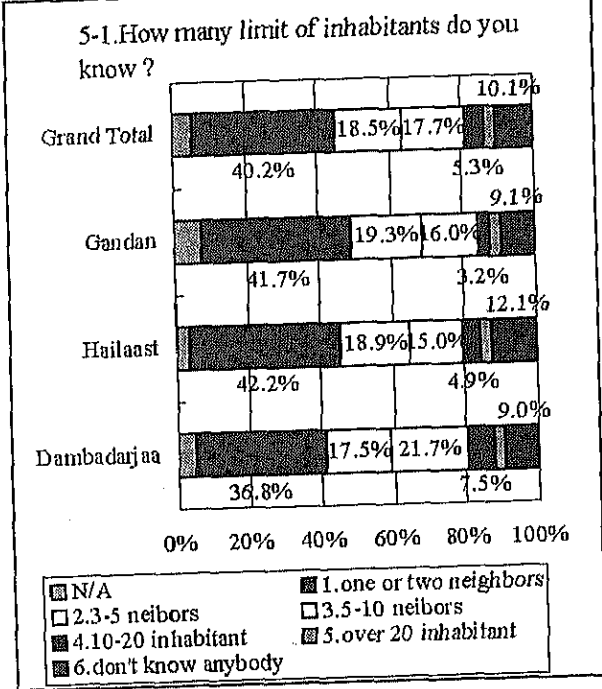
「2. 学習の場」68%、「3. 広場」63%を必要とする回答が、ダンバダルジャー地区で「1. 留守の間子供をみてくれる場所」が20%と回答を集めている。

5-2-6. 住民コミュニティについて

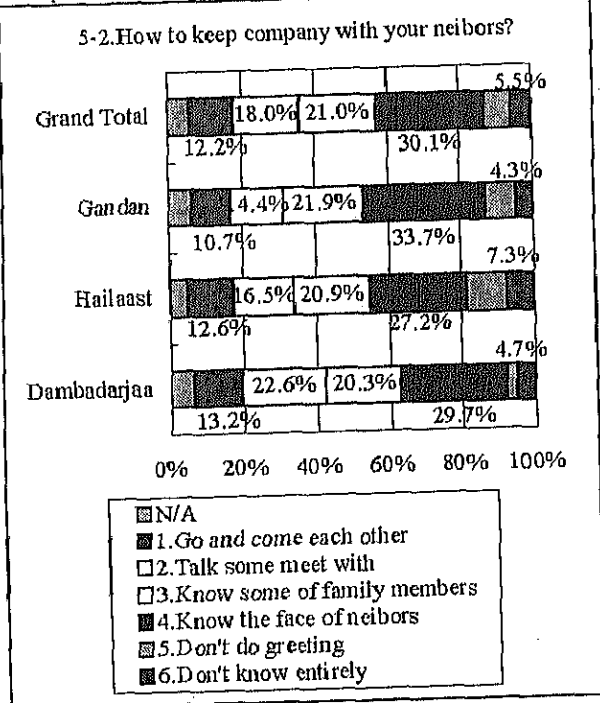
■ 5-1. 近所の人たちを知っている範囲

「1. 近所の1、2軒を知っている」40%がもっとも多く、「2. 3-5軒」19%、「3. 5-10軒」18%が続く。近所の10軒以内で77%を占めている。「6. 全く知らない」という回答も10%みられる。いずれの地区でも同様な傾向がみられるが、ダンバダルジャー地区において「3. 5-10軒」22%、「4. 10-20軒」8%の回答が他の地区よりも多く、近所の人との付き合いが深いともいえる。

Graph. 2-5-76



Graph. 2-5-77



いる」23%が多く、ダンバダルジャー地区、ハイルラスト地区、ガンダン地区の順に近所付き合いが浅くなる傾向がみられる。

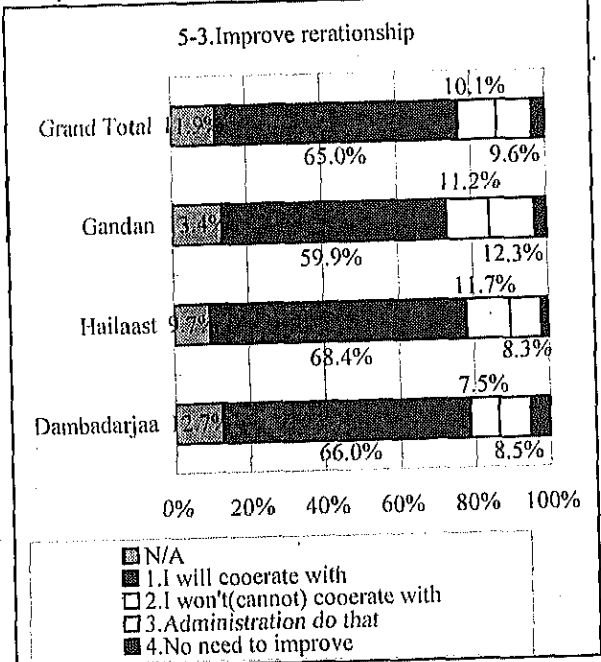
■ 5-3. 住民コミュニティの改善

コミュニティのつながりを強くし犯罪、災害等に対応し、地区を改善していくことについて、「1. 自分も協力する」65%、「2.

■ 5-2. 近所の人との付き合い方

「4. よくは知らないが顔はわかり挨拶する」30%がもっとも多い。次に「3. 家族の何人かを知っており挨拶や話をする」21%、「2. 互いの家族を知っており挨拶や話をする」18%、「1. 互いの家を行き来する」12%の順に多く、1. ~ 3. のある程度つきあいのある回答と、4. ~ 5. のよくは知らないという回答で半々にわかれる。地区別ではダンバダルジャー地区で「2. 互いの家族を知って

Graph. 2-5-78



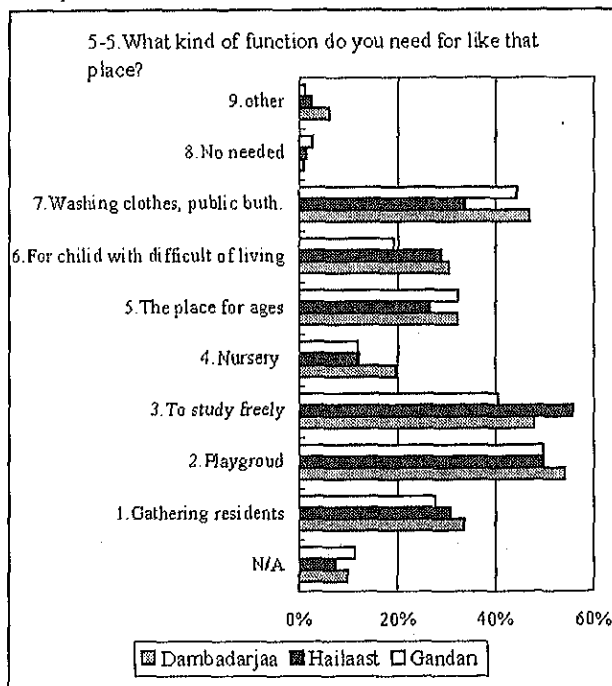
自分は協力できないが良いこと
と思う」が10%と75%が肯定す
る意見となった。地区別ではガ
ンダン地区で「3. 行政が対応す
るべき」12%が他の地区に比べ
多い。

■ 5-4. 住民が集まって時間をすご
したり話をする場所の必要

「1. ぜひ必要である」24%、
「2. あれば使いたい」56%、「3.
必要ない」11%となった。

地区別においても同様の傾向
を示している。

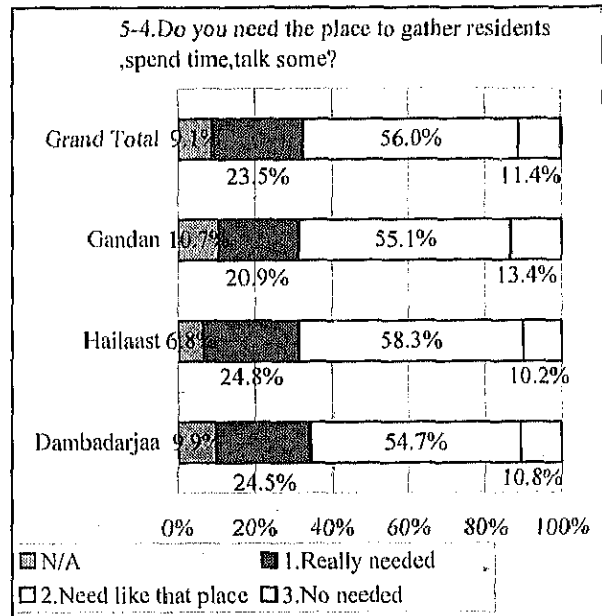
Graph. 2-5-80



習」、「6. 生活が困難な児童の場
所」の回答がガンダン地区の回答
を10%程度それぞれ上回る。

■ 5-6. 前設問の施設への協力(複数
回答)

「2. 建設作業への協力」51%、
「1. 施設整備についての話し合い
への参加」41%、「5. 施設管理へ
の協力」25%が回答を集めた。地
区別ではダンバダルジャー地区で
「2. 建設作業」56%の回答が多く、
「1. 話し合いへの参加」34%が他
の地区に比べ少ない。

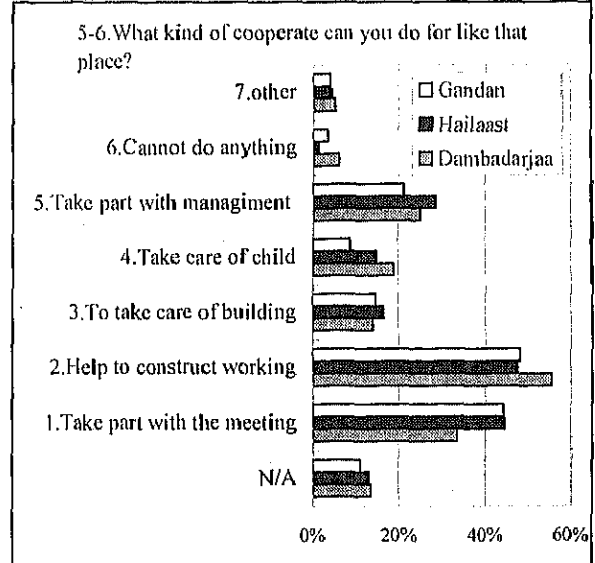


■ 5-5. 前設問のような施設に必要な機能(複数
回答)

「2. 子供たちが自由に遊べる広場」51%、「3.
子供たちが自由に学習できる場所」48%と子供
たちのための場所を求める回答が一番に多い。
次に「7. 公衆の洗濯場や浴場」42%を示し、「1.
住民の交流や情報交換」と「5. 高齢者のための
場所」31%、「6. 生活が困難な児童の生活場所」27
%と30%前後の回答を集めた。

地区別ではハイラスト地区で「3. 子供の学習」
56%が多く、「7. 公衆浴場、洗濯場」34%が少な
い。ダンバダルジャー地区で「7. 公衆浴場、洗
濯場」47%、「4. 幼稚園」20%が多い。ハイラス
ト地区、ダンバダルジャー地区で「3. 子供の学

Graph. 2-5-81



5-2-7. 地区管理費用について

■ 6-1. 地区管理費用の負担についての考え方

「4. 払いたいが入収入が低く困難」25%、「1. もちろん負担する」23%、「3. 収入から考えてできる範囲で」21%が20%を超える回答を集めた。

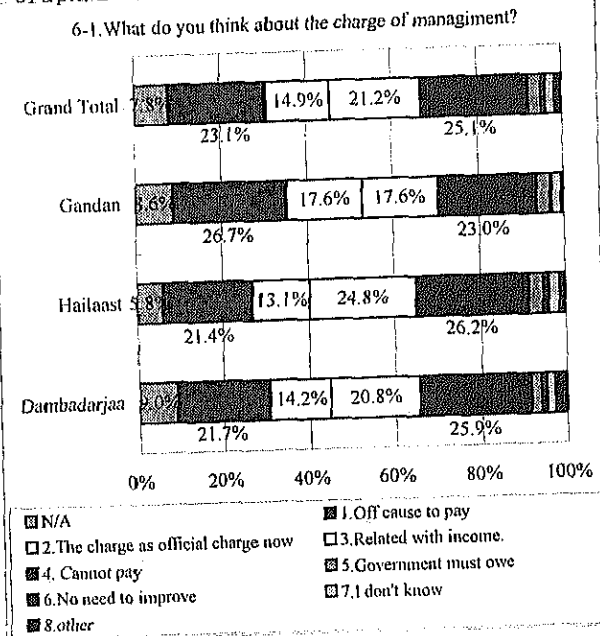
1.-3. の負担する回答が59%、4.-6. の負担しない回答が29%となった。

地区別では、ガンダン地区で「1. もちろん負担する」27%が多く、ハイラスト地区で「3. 収入から考えて」、「4. 負担できない」が他の地区より多い。

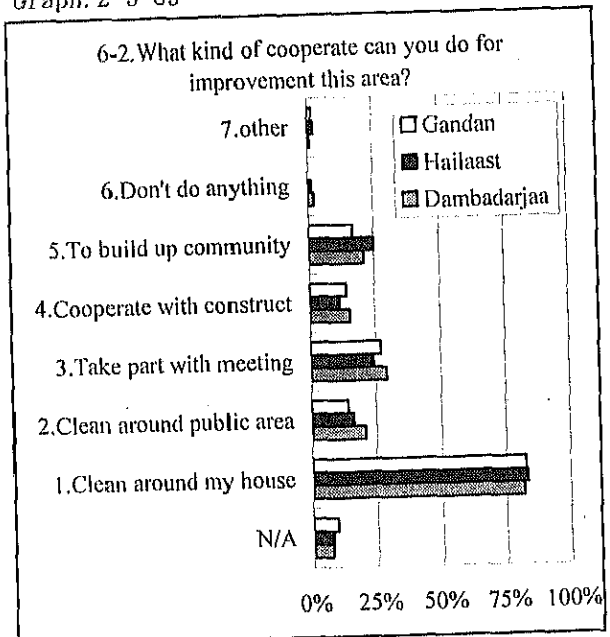
■ 6-2. 地区改善のために協力できる事項

「1. 自宅周囲の清掃」83%の回答が飛びぬけて多い。その他に「3. 地区改善のための話し合いへの参加」27%、「4. 住民コミュニティづくりへの参加」21%に回答が集まった。

Graph. 2-5-82



Graph. 2-5-83



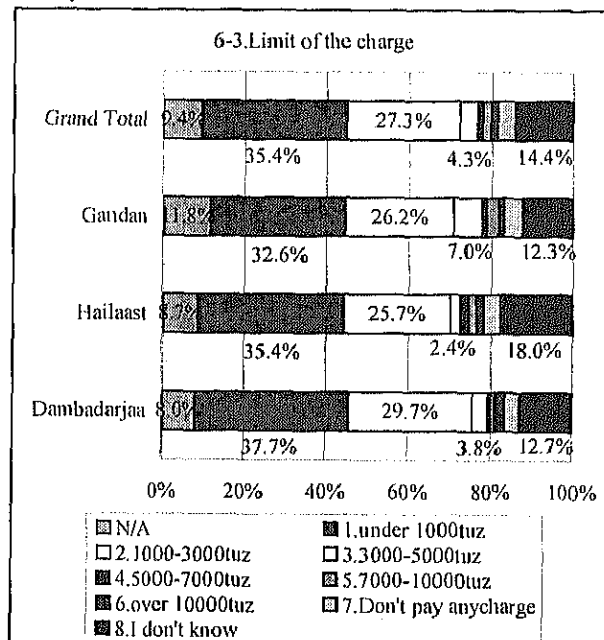
■ 6-3. 地区管理費用負担の範囲

「1. 月1000トゥグ以下」35%、「2. 月1000-3000トゥグ」27%が回答を2分し、「無回答」が14%となった。

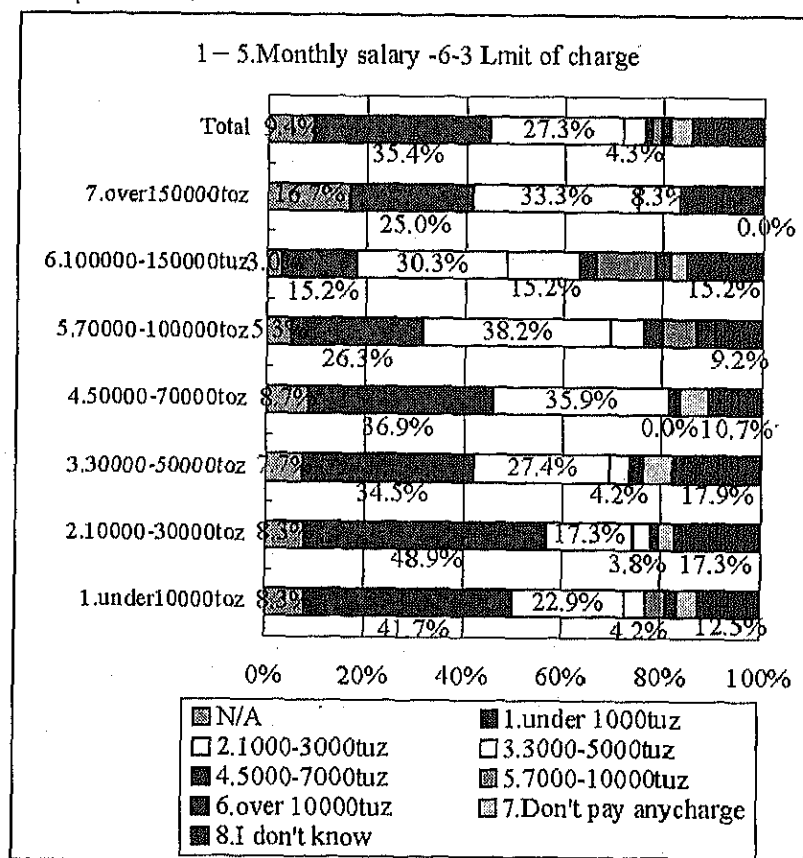
地区別にみると、ガンダン地区で「3. 月3000-5000トゥグ」が多く、ダンバダルジャー地区で月3000トゥグ以上の回答が少ない。

収入と地区管理費用の負担の関係をみると、月収30,000トゥグ以下では、1000トゥグ以下の負担が半数を占め、月収50,000トゥグ以上で1000-3000トゥグ以上の回答が、70000トゥグ以上で3000トゥグ以上の回答が多くなり、地区費用の負担と収入の関係がみられる。

Graph. 2-5-84



Graph. 2-5-85



5-2-8. 自由回答

回答者総数 605 人のうち、291 人、48% という非常に高い割合で自由意見の記述が得られた。長文の記述も多数みられ、地域住民の地域改善についての興味の高さ、これまでに住民の意見を言える機会が少なかったことがうかがえる。

記述された項目をキーワードにより分類し集計を行った。平均すると一人の記述につき 2.2 項目の意見が得られた。

もっとも意見が多かったのは上水下水、道路、電気等のインフラ整備に関することで 84% が記述している。中では、街灯、上下水、道路整備、公衆浴場に関する意見が多くあげられている。

二番目に本アンケート調査の中で重点的に設問した、コミュニティについての意見が 44% の回答を得た。住民組織の必要性、住民活動への協力、活動の方針等建設的な意見が大半を占め、良いコミュニティをつくるための意向があきらかに読み取れた。

三番目にゴミ処理に関する意見が 27% の割合を示し多い。現在のゴミ処理体制の悪さ、地区がゴミで汚されることへの意見が多い。

続いて「地区の改善に関する意見」13%、「住宅の改善に関する意見」9%、「公園整備や緑を増やすことについて」9%、「住宅建設の基金やローンの創設」8%、「地区づくりの政策について」7%等に意見のまとまりがみられた。

地区別ではハイラスト地区とダンバダルジャー地区に高い回答割合がみられ、特にハイラスト地区では「インフラに関する意見」91%、「コミュニティに関する意見」56%と高い回答割合を示した。

Table. 2-5-4

	Dambadarj jaa	%	Hailaast	%	Gandan	%	total	%
infrastructure	79	75%	96	91%	68	84%	243	84%
community	43	41%	59	56%	27	33%	129	44%
garbage	24	23%	28	27%	27	33%	79	27%
improve of area	15	14%	16	15%	8	10%	39	13%
improve of house's facility	10	10%	7	7%	10	12%	27	9%
park, green	7	7%	12	11%	6	7%	25	9%
fund for building	9	9%	6	6%	7	9%	22	8%
improve policy	8	8%	9	9%	2	2%	19	7%
child, school, education, culture	4	4%	3	3%	2	2%	9	3%
environment	3	3%	4	4%		0%	7	2%
transport	7	7%		0%		0%	7	2%
family income	2	2%	5	5%	1	1%	8	3%
crime	3	3%	3	3%	1	1%	7	2%
medical	2	2%	1	1%		0%	3	1%
disiseses	2	2%	1	1%		0%	3	1%
other	1	1%		0%	3	4%	4	1%
Gran	219		250		162		631	
number of answer	105		105		81		291	
number of answer per perspn	2.1		2.4		2.0		2.2	
Total number of area	212		206		187		605	
% of anser person	50%		51%		43%		48%	

Table. 2-5-5

	Damba darjaa	Haileast	Gandan	Total
infrastructure	79	96	68	243
street light	15	26	11	52
supply water system	8	24	10	42
improve road	18	6	10	34
sewage system	5	5	15	25
public bath	11	8	2	23
improve electricity	4	7	3	14
sidewalk road	5	3	4	12
phone lines	7	3		10
central heating system	1	4	4	9
bridge,embankment	2	1		3
supply hot water system	1		2	3
comfort ,sawage system	1	1		2
electricity meter		2		2
improve erectricity line		2		2
improve infrastructure		1	1	2
increase wells			2	2
road		2		2
working time of well	1	1		2
public bathes			1	1
community	43	59	27	129
build up community org.	12	19	10	41
cooperate with community	10	11	4	25
make up good community	10	14	1	25
work with area manager	4	3		7
community org. activity method	1		3	4
community org. activity for criminal			3	3
community org. center		3		3
community org. active for cleanness	1		1	2
community org. active for crime	2			2
community org. active for improve area	1	1		2
community org. reader	1	1		2
daubt for community active		1	1	2
difficult to payment for community		2		2
fund for community	1	1		2
build up community org. with 5-10 families			1	1
community org. activity for safety			1	1
community org. foundation		1		1
community org. foundation for build houses			1	1
community org. must be continue		1		1
cooperate with NGO		1		1
no need to make up community			1	1
garbage	24	28	27	79
garbage treatment	11	10	17	38
clean up area	4	10	9	23
garbage point	7	3	1	11
garbage cost expensive	2		1	3
garbage recycle		3		3
improve of area	15	16	8	39
hope to be improve	4	1	1	6
improve landuse planning	1	3	1	5
build apartment	2	2		4
improve for private houses area			4	4
street addresses		3	1	4
improve ger area	1	2		3
shopping environment	3			3
working place	2		1	3
government must improve ger area		1		1
must owe payment for improve		1		1
need farm area		1		1
post office		1		1
problem of emergency		1		1

	Damba darjaa	Haileast	Gandan	Total
improve of house's facility	10	7	10	27
improve houses	2	5		7
reconstruct fences			6	6
improve comfort condition	3		2	5
need new stove		2	1	3
repaire fences	2		1	3
cable TV	2			2
dig a well	1			1
park,green	7	12	6	25
park ,playground	2	7	4	13
green yard	5	5	2	12
fund for building	9	6	7	22
fund for build houses	8	3	7	18
foundation for apartment		1		1
suport for build up apartment		1		1
improve policy	8	9	2	19
help for poverty	3			3
stop to large yard of area	1	2		3
controll landuse		2		2
stop to enlarge shop area			2	2
for child		2		2
improve area management	2			2
for elders		1		1
homeless children		1		1
public service	1			1
child,school,education,culture	4	3	2	9
make school and kindergarden	2	1	1	4
library,study room for child		2		2
group for child educate			1	1
problem of school	1			1
cultulal institution	1			1
environment	3	4	1	8
air pollution	2	4		6
bad smell	1			1
transport	7			7
bus system	7			7
house income	2	5	1	8
low income	2	2		4
coal ,electricity price expensive		2		2
daily goods expensive		1		1
electricity expensive			1	1
crime	3	3	1	7
safe enviromment	1	2		3
crime of thief	2			2
decrease crime		1		1
polie station			1	1
medical	2	1		3
ambulance with free		1		1
medical for ages	1			1
problem of medical treatment	1			1
disieses	2	1		3
flood	2			2
fire problem		1		1
other	1		3	4
danger of dogs			2	2
other	1		1	2
Gran	219	250	162	631
number of answer	105	105	81	291
number of answer per perspn	2.1	2.4	2.0	2.2
Total number of area	212	206	187	605
% of anser person	50%	51%	43%	48%

第六章 住民インタビュー調査

6-1. ガンダン地区住民インタビュー調査

ケース 1. ガンダン地区「困窮世帯」

(総収入は78000 トウグ。4世帯同居。世帯収入18500 トウグ/月)

1-1. 家族構成 家族数 11人

家族員	年齢	職業収入等
母親	48歳	足を悪くしており、仕事ができない。片親世帯のため、一番下の子供が18歳に達するまで、国から18000 トウグ/月が支給される。
次男夫婦		
夫	29歳	自分で商売をしていたが、今は無職。
妻	30歳	
子	3歳	幼稚園通園
長女親子		
長女	27歳	美容師。デンジンミャンガザハ近くで勤務している。60000 トウグ/月。朝10時～夜6時の勤務。
子	2歳	
次女親子		
次女	23歳	
子	2歳	
3女	21歳	8年生中学を卒業後在宅、専門がなく、仕事をみつけることが難しい。
4女	17歳	
5女	15歳	8年生中学6年生

1-2. 収入と支出 (月当たり)

家計内訳	金額Toz
収入	78,000
支出	78,400
食料品	45,000
小麦	15,000
野菜	5,000
肉	25,000
水、光熱費、電話	26,000
上水	1,000
石炭	25,000
電気代	
電話	
その他	7,400
ゴミ処理	1,000
文房具	3,000
幼稚園	3,400
洋服	
備考	

1-3. 職業や収入について

■職業

- ・長男は10年生中学を卒業後、家を出て商売をしている。奥さんと二人の子持ちで、実家を手伝えるほどではない。
- ・次女、3女も専門はなく仕事があれば職種は気にしない。
- ・17歳の4女は専門の技術を身につけるため、上の学校に進ませたい。地区から年に1人か2人、50000トゥグを自分で負担すれば、それ以上の学費を地域で負担する制度があり、利用したい意向はあるが、最初の50000トゥグの負担が難しい。

■収入と支出。生活上の困難について

- ・家族10人で200,000トゥグあれば普通に生活できると思う。
- ・母親は足の病気で月に4～5回は病院に行かなければならない。薬代はかかるが、保険に入っており、入院してかかる治療費や薬代は免除される。学校に通っている子供には保険があるが、それ以外の家族には保険をもっておらず、病気になった時の心配はある。

1-4. 住宅、敷地について

■住宅敷地の概要

- ・20m × 20mのハシャーに2つのゲル、夏住宅1つ。

■住宅の使い方、住み方

- ・家族数が多く、一日をとおして誰かがいる。
- ・母親のゲル10人、妹家族のゲル6人が生活している。夏住宅は夏に妹の家族が利用する。

■住宅の改築、改善の意向

- ・できれば住宅で生活したい。生活に便利で、暖かい。現在のゲルが古くなっている。しかし収入がなく、担保にするものもなく、制度がないこともあり住宅資金を準備できない。家族数は多いので仕事さえみつければ、みなで分担してお金を払えるようになると思う。

■現在の居住場所への転入、移転の意向等

- ・ハシャーは1960年に両親が購入したもの。それ以来ここに暮らしている。
- ・これからもここで生活し、ハシャーの中に住宅を建てたい。できれば世帯を分離して生活したいが、そこまで収入が足りない。

1-5. 暮らし方について

■家事の分担

- ・一日をとおして誰かがいて、子供の世話をしている。家庭内の仕事は手が空いている人がする。

■上水の利用

- ・上水は子供が買いに行く。
- ・入浴はみな週に1度程度、主に家の中でお湯を沸かして体を洗う。共同浴場を利用することもあれば、市内の友人のアパートのお湯を使わせてもらうこともある。
- ・洗濯は子供が小さいので毎日する。2日で1つ石鹸を使う。

■電気

- ・電気代金が支払えず止められている。
- ・家にある電化製品は電燈と、アイロンのみ。アイロンは電気がなくてもペチカであたためて利用している。

■ごみ、汚物の処理

- ・月に一回ゴミ収集車にゴミを持っていってもらっている。地区に時々ごみのお金を手伝ってもらっている。
- ・トイレの汚物は数年に1回、冬氷った時に人に頼んで掃除してもらう。1 m³/8000 トゥッグという計算で料金を払う。子供たちはまだ小さいので家の中で用を足す。

■石炭

- ・子供たちが2日に1度程度石炭を買いに行く。
- ・冬は支出の第一番目が石炭になる。石炭を確保してから、食品を購入する。

■余暇、娯楽

- ・夏に家族で遊びに行くような機会はない。
- ・劇場、映画館に子供達は行くが、母親はいかない。11月に地区から母親が招待されてディスコに行った。

1-6. 地区での暮らしについて

■保健衛生

- ・夏場、トイレの臭いが地区に充満する。
- ・救急や緊急事態での連絡方法は近くの商店に頼るしかない。その時に電話代があればよいが、そのことでの心配がある。

■安全

- ・夜が暗く、酔っぱらいがいることなどから、夜は一人で歩かないよう注意している。

■コミュニティ

- ・隣近所とは顔を知っている程度。清掃など共同の作業はない。社会主義のときにはそのような機会はあったが、民主主義になってみな自分のことで忙しくなった。

■教育

- ・教室に子供の数が多いことでの問題がある。学校で必要な行事にお金が払えないことの問題がある。
- ・お金があれば住宅よりもまず子供の教育を優先したい。
- ・近くに遊ぶ場所はなく、こどもたちは学校でバレーやバスケットで遊んでいる。

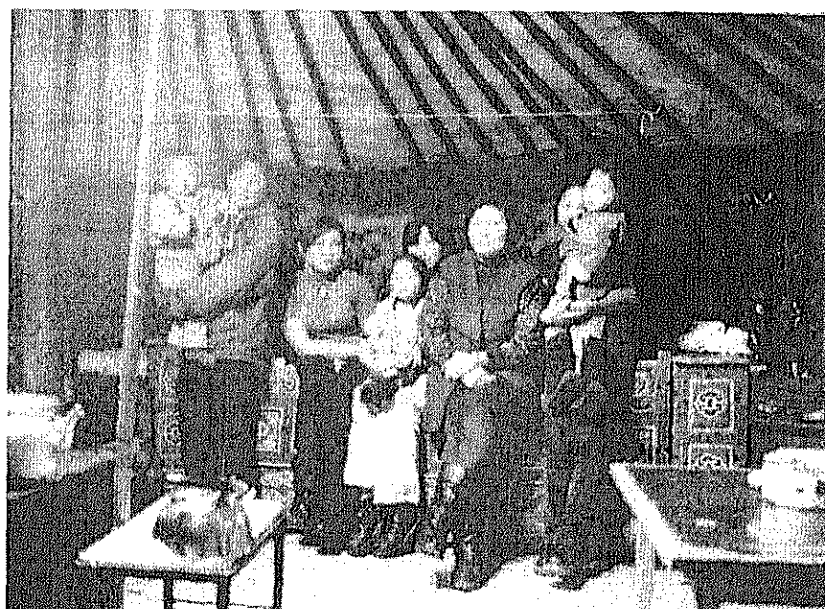
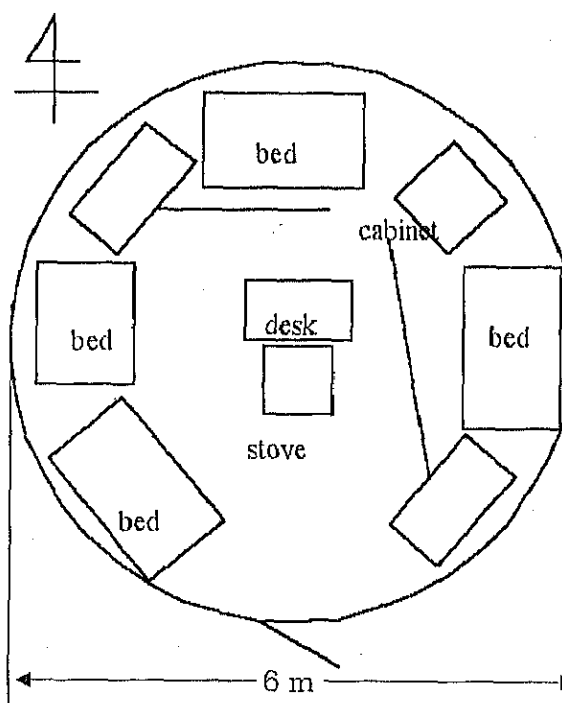
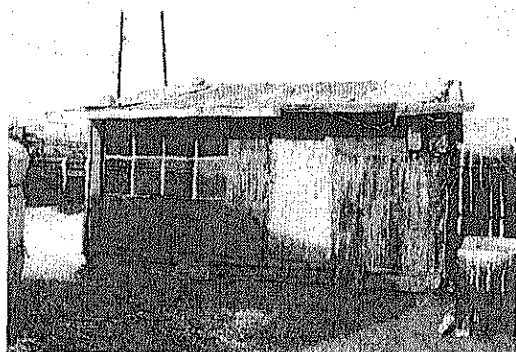
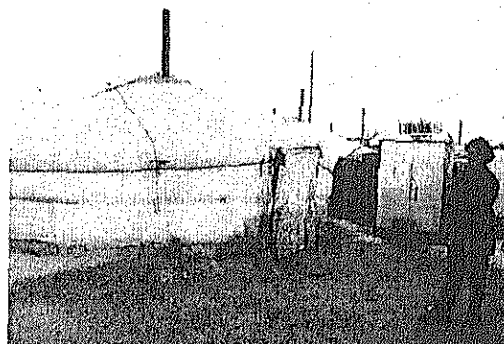
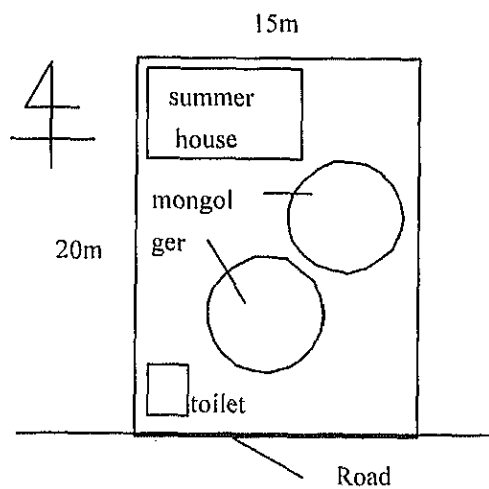
■公園、緑

- ・緑があればいいと思う。以前は木があったが、電線の邪魔になり、木を切った。

1-7. 地区の改善について

- ・これからの地区づくりの第一番目は上水と下水の整備だと思う。
- ・管理費用の負担を払うことは実際には難しいが負担をする考えはある。

Gandan .case1 (Lower class)



ケース2. ガンダン地区「ゲル地域平均的世帯」

(世帯収入 42,000 トゥグ/月)

2-1. 家族構成 5人

家族員	年齢	職業収入等
祖父	77歳	60歳まで木工所に勤めていた。年金24000トゥグ/月
祖母	69歳	年金18000トゥグ/月
孫	20歳	大学生
	15歳	中学8年生
	12歳	中学6年生

2-2. 収入と支出 (月当たり)

家計内訳	金額Toz
収入	祖父の年金24000Toz 祖母の年金18000Toz 高齢者世帯を対象に地区より2トン分の石炭代が補助される。今月10000Tozの補助を受け、石炭代にした。
	42,000
支出	43,000
食料品	18,000
小麦	15kg 8,000
野菜	週1kg1000×4週 5,000
肉	田舎から送ってもらう 0
その他	5,000
水、光熱費、電話	24,000
上水	60L/日 30Toz×30日 1,000
石炭	主に冬季の10月～3月、年間6トン使用する。補助の2トン を引いて、4トン×30000Toz=120000Toz/6月=20000Toz 20,000
電気代	2500～4000Toz、夏4000～6000Toz 3,000
電話	なし
その他	1,000
ゴミ処理	月に1回ゴミ収集車に持って行ってもらう。 1,000
ラジオTV	年間1000Toz 0
教育費	亡くなった母親が教師だったため大学の最初の2年はお金 が足りない。また両親がいないので奨学金が使える。 0
洋服	季節ごとに子供たちに使う洋服代はためておく。
備考	収入と支出は同額。蓄えはない。

2-3. 職業や収入について

- ・今の収入では、田舎から肉や乳製品をおくってくれなければ食べていけない。
- ・急なお金が必要な時は親戚から借りるしかない。貯金をしようと銀行に預けたことはあるが、若い時からお金がなく、すぐに使ってしまった。
- ・5年前と比べて生活が楽になったとは思わない。昔も今も生活はきびしい。

2-4. 住宅や敷地の概要

■住宅敷地の概要

- ・ハシャーは 20m × 15m。 モンゴルゲル 1 と夏住宅 1 を建てている。
- ・居住年数 40 年 夏住宅は 20 年ほど前に家族で協力してつくった。

■住宅の使い方、住み方

- ・日中は祖父と祖母がずっと家にいる。
- ・夏住宅は 6 月から 9 月ころに居住。家具は居住時期に合わせて移動して利用している。

■住宅の改築、改善の意向

- ・夏住宅は少しずつ必要な修理をしている
- ・ハシャーの面積がせまいとは思いますが、ガンダン地区は住宅密度が高く、自分だけがハシャーを広くしようとは思わない。
- ・モンゴルゲルは夏と冬で仕様を変える必要があり、面倒がある。現在ある夏用の住宅を良くして冬用の住宅にしたいと考えている。200 万トゥグあれば材料を買って作り直すことはできる。住宅建設資金を借りることのできる制度があれば使いたい。返済できると思う。
- ・トイレは深さ 3m あり、自然に地面に浸透するため、汚物を清掃する必要はない。年をとってきたこともあり、家の中にトイレを設置できればもっともよい。

■現在の居住場所への転入、今後の移転の意向等

- ・ガンダン地区は場所が良く、長く居住しているので、これからもずっとここに住んでいたいと思っている。
- ・将来子供たちが大きくなってどこに住むかは子供達次第。一人は残ってくれて一緒にくらしていければ良いと思う。

2-5. 暮らし方について

■家事の分担

- ・水汲みは 15 歳の孫、炊事、洗濯、掃除は祖母と孫が一緒にする。大工作業は祖父が担当する。

■上水

- ・上水販売所は近く、子供が水くみにいくので特に問題はない。
- ・入浴は子供が週に 1 度、祖父、祖母が月に一度、共同浴場に行く。
- ・洗濯は週に数度、家の中で洗う。

■電気

- ・家にある電化製品はアイロン、冷蔵庫、テレビ、ラジオ。15 年、20 年と使っている。欲しい電化製品は電子レンジが欲しい。

■ごみの処理

- ・月に 1 回ごみ収集車に持っていってもらう。

■石炭

- ・石炭は 15 ～ 50kg ごとに手押し車で買いに行く。収入がたりずに石炭を近所や親類から借りることもある。火の心配はあるが、気をつければ心配はない。子供の時期はつねに火に近付けないよう見張っている。

■余暇、娯楽

- ・夏の時期、2～3回は子供たちと一緒に親類の車などで、市内のトール川の近くなどに遊びに行く。
- ・演劇や映画は好きで、月に何回か見に行くこともある。

1-6. 地区での暮らしについて

■保健衛生

- ・病院にはめったにいかない。高齢者は医療費が免除されるので、医療費の心配は感じない。

■安全

- ・遅くなったときは、地区が暗いため、子供たちは友だちと連れ立って帰るように注意している。
- ・緊急事態の連絡については、近所のどこからでも電話できるのでそれほど問題を感じない。

■コミュニティ

- ・40年以上ここで暮らしており、周囲の人々を良くしっている。特に共同作業を地区の人とする機会はない。ゲルの仕様を変える時も家族だけで行う。

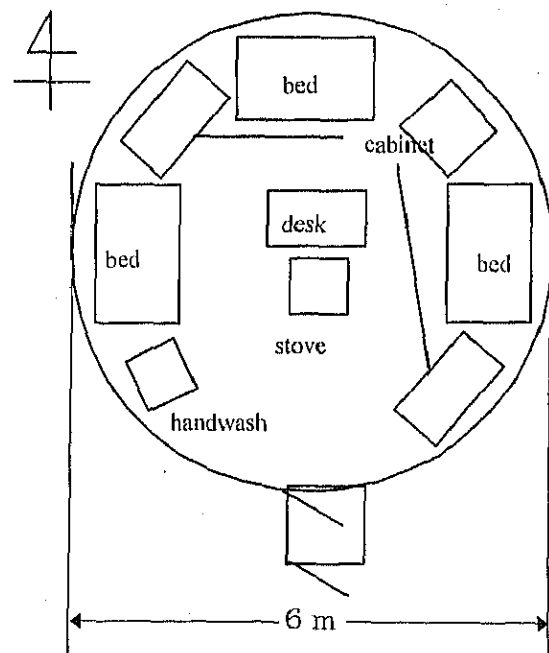
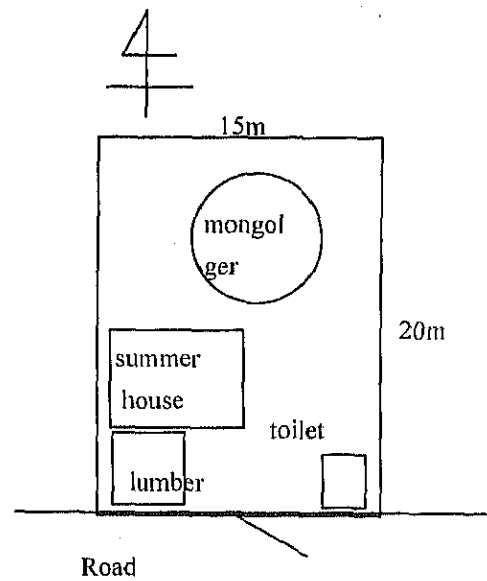
■公園、緑

- ・緑が少ないとは感じるがハシャーが小さく、ハシャーの中に緑を植えることは難しい。

1-7. 地区の改善について

- ・まずは街灯を設置してほしい。上水、下水ができれば暮らしよくなると思う。
- ・地区の管理費用の負担はできる範囲で理解する。

Gandan .case2 (Middle class)



ケース3. ガンダン地区「中流以上の家庭」(世帯収入 600000 トゥグ/月)

1. 家族構成 家族数 6人

家族員	年齢	職業収入等
父親	43歳	貿易業、商店・食堂経営。就業時間 朝9時～夜8時30分 季節毎に10日ほど中国に買い付けに行く。普段はほとんど 自宅の商売に携わっている。商売なので月ごとに収入は異 なる。生活費として60万トゥグ/月程度確保し、余剰があれば 商売にまわす。
母親	43歳	商業会計の専門知識があり共に会社を運営している
子	16歳	中学8年生
	13歳	中学5年生
	12歳	中学5年生
	8歳	中学1年生

2. 収入と支出 (月当たり)

家計内訳	金額Toz
収入	父親は会社経営者であり、生活費として60万Toz程度確保 600,000
支出	800,000
食料品	4人の雇用人の昼食・夕食込み 400,000
小麦	50kg 25,000
野菜	じゃがいも、玉ねぎ 15kg/月 キュウリ 5～6玉 20,000
肉	田舎から送ってもらう。羊10頭、牛半分、馬半分/年間 0
その他	35,500
水、光熱費、電話	121,000
上水	80L/日 30Toz×30日 1,000
石炭	主に冬季の10月～3月に使用する。まとめて5トン、10万Toz購 入する。 20,000
電気代	食堂 15000Toz 家 5000Toz 20,000
電話	商店40000Toz 家40000Toz (家の電話、携帯2台) 80,000
その他	70,000
ゴミ処理	月に1回ゴミ収集車に持って行ってもらう。 1,000
ラジオTV	年間1000Toz 0
教育費	一番下の子供が私立にいていた時は30万トゥグ/年必要だっ た。教育内容があまりよくないため公立の学校に戻した。現 在は公立に通学。上の娘が現在英語のコースに行っており、 月に8000トゥグ支払う。 8,000
洋服	奥さんや子供たちに季節毎にまとめて買う。50～60万Toz
備考	収入と支出は同額で、蓄えはなく、余剰があれば商売にまわす。

3. 職業と収入について

■ 職業

- ・90年以前は裁判所で仕事をしていた。法律はある程度詳しい。
- ・90年からドンドゴビで商売をはじめ、当初は中国からコートを買ひ、ロシアに売
るという商売をしていた。96年から会社経営をはじめた。郷里はドンドゴビ県で
中国に毛皮をうり、小麦粉、米を買ってくるという商売をしている。現在ドンドゴ
ビでは商店を運営している。

■収入と支出。生活上の困難について

- ・生活に見合った収入になっている。
- ・収入もあがるが、支出も子供が大きくなるにつれて大きくなっている。

3-4. 住宅、敷地について

■住宅敷地の概要

- ・ハシャアの面積は20×20m ガンダン地区では広い方である。
- ・97年に住宅を120万トゥグで家族で協力してつくった。98年に食堂を90万トゥグで、99年に商店を120万トゥグでつくった。2000年に車庫を50万トゥグでつくった。その他石炭倉庫、トイレを敷地内に設置している。
- ・住宅の内容は食堂、キッチン、寝室、子供部屋、ボイラー室、入り口そば物置き

■住宅の使い方、住み方

- ・敷地内で商売をしており、家にはつねに誰かいる状態。
- ・キッチン、食堂、寝室、子供部屋に部屋割りされており、子供部屋はリビング兼子供の寝室として利用している。

■住宅の改築、改善の意向

- ・モンゴルゲルは、雨や砂など、天候の影響を直接うけるので、生活が難しい。
- ・ボイラーは部品を買ってきて自分でつけた。ボイラーが20万トゥグ、パールが40万トゥグで合計60万トゥグで整備した。
- ・来年、車庫をつぶして、2階建ての建物をつくる予定がある。予算は1000万トゥグを予定しており、見込みはある。建築業も営業しており、会社の人間と一緒に作ることを予定している。
- ・トイレは最初に深くつくったので汚物の処理の必要はない。外のトイレには困難を感じており、新たに住宅をつくるときには家の中につくりたいと思っている。水洗トイレは10年前は65000トゥグで、現在は40万トゥグになっている。風呂場や洗濯機を設置する場所も作りたいと思っている。

■現在の居住場所への転入、移転の意向等

- ・以前の居住地はヤルマグ地区 97年に現在のハシャアを200万トゥグで購入した。
- ・ヤルマグのハシャアは土地が広くて良かったが、ガンダン人は人が多くて商売には都合が良い。市内を行き来する交通の便でもこちらの方がよい。ヤルマグのハシャアは建物つきで50万トゥグで売却した。
- ・実家は12人兄弟で自分が長男。親は会計士だった。3人がウランバートルで暮らし、残りはドンドゴビで生活している。ウランバートルの兄弟はエレル企業の法律家と商店経営、ドンドゴビの兄弟も商店の経営や裁判所勤めで、みな生活できているので問題はない。
- ・これからの居住場所としてもここで生活していきたい。子供たちは市内のアパートに移ってもかまわないが、自分はここで暮らしていきたい。ゲル地区での生活は子供たちに仕事を与えることができ、よいと思っている。
- ・子供は市内のアパートに移りたがっているが、一人はこの場所に残ってほしいと思っている。
- ・商売の方は13歳の子供が将来も手伝うように思っている。

3-5. 暮らし方について

■家事の分担

- ・毎日の水汲みは8歳の子供が歩いて5分の販売所に買いに行く。
- ・炊事、洗濯、掃除は16歳の娘の仕事にしている。

■上水

- ・子供が大きくなってきたことや、洗濯機を買ったことなどから、水の利用量が増えている。今後は風呂場や洗濯機を設置する場所も作りたいと思っており、そうなる
と更に水の使用量は増えると予想される。上水所までは100mだが、ガンダン地区
は上水所まで水道がきている。将来的には水道を家まで引き込んで利用したいと考
えている。
- ・入浴は週に1度程度、サンサル地区に親戚がおり、お湯を使わせてもらっている。
ボイラーには260Lのタンクを利用しており、週に1度10L程度蒸発した水を加え
る。洗濯機を持っており、毎日のように洗濯する。

■電気

- ・電気製品で最近買ったものは去年洗濯機、7月に電子レンジを買った。炊飯器は仕
事用と合わせて3つ持っている。

■ごみの処理

- ・ごみは月に1回出している。燃えるゴミは燃やして、処理している。冬は通常のド
ラム管3本に加え、5本の灰を処理する。商店と合わせて月5000トゥグを支払っ
ている。

■石炭

- ・石炭はトラックで自分でナライハまで買いに行く。

■自動車の利用

- ・ドンドゴビから商売用の荷物を運ぶためにトラックが必要で2台所有していたが、
1台は故障し、現在はトラック1台が動いている。自宅に乗用車は1台。自分が仕
事で車を使うと他に車がないため、奥さんの仕事に差し支えることがある。普段の
暮らしのためにも新しく1台所有したいとは思っている。

■余暇、娯楽

- ・夏に一週間休みをとり、保養地に行くのが楽しみ。ドンドゴビで働いている人や家
族とともにみんなで遊びに行く。アルハンガイやドンドゴビにツーリストキャンプ
を作りたいと思っている。
- ・コンサートや演劇には興味があり、何かの祭りの日や新しく流行っているものは見
に行っている。

3-6. 地区での暮らしについて

■保健衛生

- ・自宅の周辺にごみを捨てる人はいるが、自宅周辺は清潔に保つようにしている。
- ・病院にはあまりいかない。病気にならないよう予防をこころがけている。

■安全

- ・商店の前には街灯を設置しており、暗さによる危険は自宅周辺では少ない。
- ・夜8時30分まで商店を営業しているが、売っているだけで、店で飲ますことはし
ない。酔った人には売らないことにしている。それ程危険を感じることはない。
- ・緊急時の連絡は電話があるので問題はない。

- ・子供たちは家からあまり出さないようにしている。二人の仲の良い友だちがいて、必ず電話連絡して行き来するようにしている。

■コミュニティ

- ・周囲の人ともよく行き来があるが、付き合わないことが好きな人もいる。隣の家の建築作業の手伝いをしたこともある。

■教育

- ・子供の教育は十分につけさせたい。国内でも海外でもかまわないが大学にはいかせたい。商売の中心はドンドゴビだが、子供の教育面でウランバートルに来た理由が大きい。
- ・現在の学校は結構よい学校であり、教育環境での問題はない。
- ・16歳の娘は外国の大学に行かせたい。妹は会社の賞与で日本に17日間研修に行った。

■公園、緑

- ・地区に緑を増やすため、来年から木を植えたいと思っている。以前植えたが花や木をおられたことがあり、そうしない人たちが邪魔をすることが難しい。
- ・地区管理事務所の建物をボランティアで修理した。

3-7. 地区改善の方針について

- ・地区の改善は上水と街灯の整備から。地区改善に必要な費用の負担はもちろん理解する。協力しない人が多いことも理解するが、ただ負担はしなくとも、改善したものを壊さないようにして欲しい。
- ・道路が整備されて、商売の環境がよくなればよいと考えている。

Gandan .case3 (Upper class)

